

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成27年度実績)

平成28年12月  
富田林市教育委員会

～ はじめに ～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成27年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市民の皆様にご公表することにより、さまざまなご意見をいただき、次年度以降の施策や事業に反映させ、今後の事務改善に活かすよう努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

富田林市教育委員会

## 《参 考》

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 《 目 次 》

1. 教育委員会の活動概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4
  
2. 学校教育
  - (1) 幼児教育・学校教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
  - (2) 健やかで豊かな人間性を育む教育・・・・・・・・ 7～8
  - (3) 学校力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - (4) 学校給食の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～12
  - (5) 施設等の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～14
  
3. 生涯学習
  - (1) 生涯学習の推進
    - ①生涯学習・社会教育事業・・・・・・・・ 15～16
    - ②青少年対策事業・・・・・・・・ 17～18
    - ③市民文化の振興・・・・・・・・ 19～20
    - ④図書館活動・・・・・・・・ 21～23
    - ⑤公民館活動・・・・・・・・ 24～25
  - (2) スポーツ振興・・・・・・・・ 26～27
  - (3) 文化財の保存と活用・・・・・・・・ 28～29
  - (4) 施設等の整備・・・・・・・・ 30～32
  
4. 学識経験者等の意見・・・・・・・・・・・・・・・・ 33～38
  
5. 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・ 39～55

## 【1. 教育委員会の活動概況】

### (1) 教育委員会の構成 (平成28年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	芝本 哲也	平成27年12月7日～平成30年12月6日
教育長職務代理者	阪井 千鶴子	平成25年10月1日～平成29年9月30日
委員	益田 耕吉	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員	仲野 務	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員	山元 直美	平成24年10月1日～平成28年9月30日

### (2) 教育委員会会議等

区分	日程	付議案件等
委員研修	平成27年4月3日	市町村教育委員会委員長・教育長会議
4月定例会	平成27年4月23日	富田林市小学校給食会理事の委嘱・任命について (他11件)
委員研修	平成27年5月19日	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会 (アウターナ大阪)
5月定例会	平成27年5月28日	富田林市就学指導推進委員会委員の委嘱任命について (他6件)
6月臨時会	平成27年6月4日	平成27年度大阪府富田林市一般会計補正予算(案) について
6月定例会	平成27年6月25日	富田林市立小中学校校区対策委員会委員の委嘱・任命について (他10件)
7月定例会	平成27年7月30日	富田林市学校給食センター運営委員会委員の委嘱・任命について (他6件)
8月定例会	平成27年8月26日	教育委員会の後援名義承認申請のあった行事について
委員研修	平成27年8月26日	富田林市立金剛図書館運営事業の視察
9月定例会	平成27年9月24日	富田林市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 について(他5件)
委員研修	平成27年10月22日	富田林市教育委員管外研修(京都府伊根町)
10月定例会	平成27年10月28日	教育に関する点検・評価報告書(案)について(他 3件)

委員研修	平成 27 年 11 月 6 日	大阪府市町村教育委員会研修会（アウィーナ大阪）
委員研修	平成 27 年 11 月 9 日	南河内地区教育委員研修会（河内長野市）
11 月定例会	平成 27 年 11 月 26 日	富田林市いじめ問題対策委員会委員の委嘱・任命について（他 3 件）
12 月定例会	平成 27 年 12 月 24 日	平成 28 年度全国学力・学習状況調査について（他 5 件）
1 月定例会	平成 28 年 1 月 28 日	平成 28 年度富田林市成人式の報告について（他 6 件）
委員研修	平成 28 年 1 月 28 日	向陽台小学校 授業視察
2 月定例会	平成 28 年 2 月 25 日	平成 28 年度富田林市一般会計予算（案）（教育委員会関係）について（他 3 件）
3 月定例会	平成 28 年 3 月 24 日	富田林市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則について（他 6 件）

### （3）その他の主な行事・会議

開催月	行事・会議名
平成 27 年 4 月	幼稚園入園式・小学校入学式・中学校入学式
	教育方針説明会
	体育協会総会
	青少年指導員連絡協議会総会
	小学校給食会理事会
	野外活動協会総会
	こども会育成連絡協議会総会
	少年スポーツ連盟総会
	中央・東・金剛公民館クラブ連絡会総会
レクリエーション協会総会	
平成 27 年 5 月	市民体育大会開会式
	市教育研究会・市人権教育研究会総会
	P T A 連絡協議会総会
	富田林寺内町をまもり・そだてる会総会
	中学校給食会理事会
	小学校運動会
平成 27 年 6 月	文化振興基金審査委員会
	学校安全確保の日
	石上露子生誕祭

平成 27 年 6 月	学校給食センター運営委員会
	生徒指導シンポジウム
平成 27 年 7 月	市民プールオープニングセレモニー
	公民館運営審議会
	図書館協議会
	学校給食センター運営委員会
	就学指導委員会
	社会教育委員会議
	奨学金審査会
	東公民館「納涼の夕べ」
	放課後子ども教室運営委員会
	富田林ドリームフェスティバル
	市教育講演会
	平成 27 年 8 月
新学校給食センター厨房機器選定委員会	
伝統的建造物群保存審議会	
リーダーシップ研修	
じないまち燈路	
平成 27 年 9 月	少年サッカー大会
	市民スポーツ・レクリエーション祭
	中学校体育大会
	寺内町「月見の会」
平成 27 年 10 月	幼稚園運動会
	中学校給食の日
	体育の日記念事業
	新学校給食センター厨房機器選定委員会
	少年剣道大会
平成 27 年 11 月	連合運動会
	公民館まつり
	連合音楽会
	関西文化の日
	子ども読書活動推進会議
	藤陽中学校創立 30 周年記念式典
	こども作品展表彰式

平成 27 年 12 月	教育研究集会
	市民マラソン大会
平成 28 年 1 月	成人式「はたちのつどい」
	富田林市 P T A 大会
平成 28 年 2 月	南大阪駅伝競走大会
	「とっぴーと読もう！」読書感想文コンクール表彰式
	図書館協議会
	雪あそびファミリーツアー
平成 28 年 3 月	放課後子ども教室運営委員会
	じないまち雛めぐり
	幼稚園卒園式・小学校卒業式・中学校卒業式
	文化振興基金審査委員会
	社会教育委員会議
	公民館運営審議会
	伝統的建造物群保存審議会
	美術協会展

## 【2. 学校教育 (1) 幼児教育・学校教育の充実】

### 1. 施策・事業の概要

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成
- (2) 明るく楽しい学校園づくり

### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成について

全幼稚園で園内研究保育等を行い「きめ細かな一人一人の育ちを促す保育」を実施した。また、小学校1、2年生と6年生や、中学校3年生を中心とした少人数学級編制や、少人数加配を活用した少人数・習熟度別指導、あるいは、ALTの配置による英語教育・外国語活動の推進を図り、きめ細かな指導の充実とグローバル人材の育成に努めた。更には、「教育カウンセラー」を配置し、児童・生徒及び保護者からの相談の対応等と経験年数の浅い教員等の指導力向上に取り組み、確かな学力の育成を進めた。

- (2) 明るく楽しい学校園づくりについて

全校園で定期的に「悩みの相談アンケート」、「個別カウンセリング」等を実施し、いじめ等の問題行動事象の未然防止と早期発見・早期解決のための体制構築、関係機関との連携を図った。また、長期欠席及び不登校傾向にある子どもの状況の把握や改善のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用に取り組んだ。とりわけ、スクールソーシャルワーカーについては、9月から市費にて増員し、子どもや保護者が抱え込んでいる悩みを学校と関係機関との連携により把握し、迅速な支援につなげるために重点校配置した。

【資料編 44 ページ参照】

### 3. 点検結果・評価

- (1) 市教委主催による各種研修会の実施や各校園における研修により、子ども一人一人の育ちを促す指導を推進することができた。幼稚園講師の活用や市単費講師の雇用、ALTの派遣により、少人数学級編制や少人数・習熟度別指導、英語教育・外国語活動を更に充実させることができ、きめ細かな指導を推進することができた。
- (2) いじめ等の事象については、軽微な事案についてもいじめの可能性を否定せずに子どもからの聞き取りや状況把握を行う中で、いじめと考えられる要素について丁寧に拾い上げた結果、認知件数が18件から30件へと増加し、各校で早期発見・対応や継続的な見守りが進んだ。また、長期欠席及び不登校傾向にある児童・生徒について、各校で未然防止策も含め積極的に取り組みを進めているが、「無気力」「不安」「人間関係の課題」「家庭に係る状況」等の要因により、昨年度に比べ中学校において不登校生徒数が14名増加し、小学校でも6名増加した。



#### 4. 課題・方向性

- ・一人一人の育ちを促す指導の実践・推進のため、今後さらに各種研修会を充実させるよう計画・実施していく。
- ・今後も少人数学級編制や少人数・習熟度別指導を充実させ、きめ細かな指導を進める。
- ・不登校及びいじめ等問題事象の未然防止に向け、学校における「居場所づくり」「つながりづくり」の取組をこれまで以上に充実させる。そのために、子ども同士が人間関係を深められるよう、集団づくりの研究を進める。
- ・「無気力」「不安」「人間関係の課題」を抱える子どもへの対応については、アンケートや学校全体でのきめ細やかな見守りによる早期発見に努めるとともに、教員とスクールカウンセラーによるケースカンファレンス等を行い、一人一人の丁寧なケアを進める。
- ・「家庭に係る状況」に起因すると思われるケースについては、スクールカウンセラーに加え、スクールソーシャルワーカーを活用した組織的対応についての研究を進める。また、その成果を他の学校や市全体に広げ、生徒指導体制の充実を更に推進する。

## 【 2. 学校教育 (2) 健やかで豊かな人間性を育む教育 】

### 1. 施策・事業の概要

- (1) 人権尊重の教育の推進
- (2) 支援教育の推進
- (3) 人間性を育む教育の推進

### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 人権尊重の教育については、「同和教育基本方針」、「人権教育基本方針」、「人権教育推進プラン」に基づき、総合的な人権教育を推進した。また、各種研究会等と連携して、人権教育を担う次世代の育成を行った。
- (2) 支援教育については、積極的に巡回相談を実施し、保護者や学校に対して、支援の在り方や指導方法についての助言を行った。また、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいについての理解と支援に関して、幼小中の教職員を対象に研修会を開催し、教職員の指導力向上と校内体制づくりを図るための支援や校種間連携の強化を行った。
- (3) 保護者や関係機関が連携して支援を行うためのツールとしてつくられた「つながるファイル」の活用を促進した。さらに、「つながるファイル」の活用について、本市関係各課で協働して取り組み、市民向けと支援機関向けの説明会を開催した。
- (4) 生活科や総合的な学習の時間等において、「地域清掃ボランティア活動」、「多文化交流体験」、「福祉体験」など、様々な体験学習を重視するとともに、「道徳教育」や「性（生）に関する教育」等に外部講師を招聘するなど、工夫して取り組んだ。

### 3. 点検結果・評価

- (1) 人権教育については、市教委主催で23回の研修や、各研究団体と連携した研修により、すべての小・中学校で人権教育のカリキュラムを作成し、総合的な人権教育を実施できた。
- (2) 支援教育については、学校からの依頼に基づき、市として126回の巡回相談を実施し、各校での支援の充実と、「個別の教育支援計画」の作成・運用をさらにすすめることができた。また、市教委主催の研修等を通して、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいへの理解を深め、その理念である「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた。一方で、巡回相談の依頼数は増加傾向にあり、今後、更に対応力を向上させる必要がある。
- (3) 「つながるファイル」を活用し、保護者や関係機関との連携が進んだ。
- (4) すべての学校で、さまざまな体験学習、「道徳教育」、「性（生）に関する教育」等を実施し、健やかで豊かな人間性を育むことができた。

#### 4. 課題・方向性

- ・人権教育や支援教育について、今後も教職員の研修機会の確保はもとより、社会状況に正対した内容の設定や質の向上に努めるとともに、保護者への理解と啓発を進め、一層の充実を図る。
- ・「つながるファイル」の活用について、今後も保護者向けの説明会の開催を積極的に行い、内容と活用の充実を図る。
- ・今後も各校の実状に応じて、体験活動による豊かな心の醸成を図る。
- ・今後も増加が予想される巡回相談への対応については、新たな相談員の育成や他機関との連携等をすすめる。

## 【 2. 学校教育 （3） 学校力の向上 】

### 1. 施策・事業の概要

- (1) 教員の指導力向上、学校力の向上
- (2) 地域に開かれた学校づくり

### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 教師の指導力向上、学校力の向上

- ①市教委主催による「教員全体研修（2講座、576名参加）」や今日的な教育課題に即した「課題別研修（29講座、延べ1047名参加）」を実施した。また、各校においては、それぞれの教育課題に応じた研修会を実施し、学校力の向上に取り組んだ。
- ②全国学力・学習状況調査等の結果分析から、児童生徒の学力面、生活習慣面での課題や、学校全体で取り組むべき具体的な改善方策を明らかにした。

【資料編 43・44 ページ参照】

【富田林市ウェブサイト・各課のページ・教育指導室に掲載】

- (2) 地域に開かれた学校づくり（学校教育自己診断と学校協議会の運営）

- ①全学校園で学校園教育自己診断を実施し、分析結果については学校通信や保護者会等で公表した。また、全小中学校幼稚園で学校園協議会を運営し、課題や提言内容を全教職員で共有し、その改善を進めた。
- ②中学校区を単位として、地域教育協議会（すこやかネット）の活動を進め、教育コミュニティづくりに取り組んだ。

### 3. 点検結果・評価

- (1) 全体研修には幼・小・中全教職員の85%が参加するとともに、課題別研修にも全員が複数回の参加により、教職員としての人格形成と使命感、責任感の一層の涵養と、社会の変化に伴う多様な教育課題の解決に向け、教職員の資質向上につながった。また、富田林市学力向上プロジェクトを組織し、全小・中学校での具体的な実践につながった。しかし、全国学力・学習状況調査からは、国語科における「書くこと」の習得状況や家庭学習、読書習慣に課題があることが明らかになった。
- (2) すべての学校園で、学校園教育活動等の成果を「学校園教育自己診断」や年に複数回実施する「学校園協議会」で検証でき、開かれた学校園づくりを確実に推進することができた。

### 4. 課題・方向性

- ・学校力向上のため、研修による教職員の資質の一層の向上や、課題の解決に向けた取り組みを進める。また、引き続き授業改善や、学力定着に向けた家庭学習の啓発、読書活動の推進を図る。
- ・今後も地域の協力のもと、開かれた学校園づくりへの取り組みを進める。

## 【 2. 学校教育 (4) 学校給食の推進 】

### 1. 施策・事業の概要

#### (1) 小学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③給食費の徴収管理業務
- ④学校給食センター建替事業

#### (2) 中学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③「給食の日」を始めとした喫食率向上に向けた取り組みの実施

### 2. 平成27年度の取り組み状況

#### (1) 小学校給食【資料編 45 ページ参照】

##### ①・学校給食の実施状況

小学校数：16校 対象児童数：5,463人 実施日数：186日

##### ・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市小学校給食衛生管理基準の周知・徹底や調理備品の更新、施設の修繕を行った。

##### ②学校給食の効果的・効率的な運営

調理運営業務を富田林学校給食㈱に委託するとともに、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市小学校給食会において行った。

##### ③小学校給食費の徴収管理業務を「富田林市債権管理マニュアル」に基づき、督促や催告、支払督促等に取り組んだ。

##### ④平成26年度に策定した新学校給食センター基本構想を基に整備基本計画を策定し、設計業者を選定のうえ、基本設計・実施設計作成に取り組んだ。また、新学校給食センターの調理場設計をプロポーザル方式で公募し選定した。

#### (2) 中学校給食【資料編 45 ページ参照】

##### ①・学校給食の実施状況

市内全中学校において自校式による給食を実施した。

中学校数：8校 対象生徒数：3,183人 実施日数(最大)：174日

##### ・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市中学校給食衛生管理基準の周知・徹底を行った。また、夏期休業中には全ての調理従事者を集めて「衛生管理研修会」を開催した。

ノロウイルスによる食中毒及び感染症の発生を防ぐため、調理従事者には高感度の検便検査を求める等、衛生管理基準の見直しを行った。

#### ②学校給食の効果的・効率的な運営

調理業務を各校とも民間に委託する一方で、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市中学校給食会において行った。

食材発注のための業務システムを改修した。

#### ③喫食率向上に向けた取り組み状況

全校生徒に無料で給食を提供する「給食の日」を実施し、給食のPRを行った。また、新一年生の4月分の給食申込みを小学校と協力して行なった。8校の土曜参観に給食を行い、PTA試食会等も実施した。

市のシティセールスとも連携し、子育て世代を対象とした市内バスツアーの昼食に給食を提供した。

### 3. 点検結果・評価

#### (1) 小学校給食

①衛生管理基準及びドライ運用作業手順の徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。また、献立に地元の野菜を積極的に取り入れることで、地産地消に貢献することができた。

②調理運営を富田林学校給食(株)へ委託、また、一部事務を富田林市小学校給食会において行ったことで効果的・効率的な運営を行うことができた。

③給食費の徴収管理業務を行うことにより、公平性・透明性を確保し、学校現場における事務等の軽減が図れた。

④富田林市新学校給食センター基本構想に基づき、新学校給食センター整備基本計画の策定ができた。合わせて、設計業者を選定し基本設計・実施設計に向けて前進することができた。また、新学校給食センター1階調理場のレイアウトは厨房業者によるプロポーザルを受け、新学校給食センターの具現化につながった。

#### (2) 中学校給食

①衛生管理基準の周知徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。

②調理業務を民間業者へ委託、また、一部事務を富田林市中学校給食会において行ったことで、効果的・効率的な運営を行うことができた。

業務システム改修により、業務の効率化、食材の適正管理、申込から食材発注までの時間短縮が可能となった。

③喫食率向上に向けた改善に取り組んだ結果、前年度平均喫食率41.8%から今年度は43.5%に上昇し、28年3月においては47.6%になった。そんな中、8校中、喫食率40%を超える学校が5校、その内、50%を越える学校が4校となった。

#### 4. 課題・方向性

##### (1) 小学校給食

- ①富田林学校給食(株)の活用により、さらに効果的・効率的な推進を図る。
- ②給食費の徴収管理については、事務の効率化のためシステム等の改良や保護者への啓発、滞納者へのきめ細やかな対応などを行うとともに、今後一層、学校等との密接な連携を図り、目標収納率 98%に向けて取り組む。
- ③新学校給食センターの基本設計・実施設計を基に地元説明を行い、旧学校給食センターの解体、並びに新学校給食センター工事着手に取り組み、平成 30 年 4 月完成を目指す。

##### (2) 中学校給食

- ①市内全 8 中学校で実施して 5 年が経過し、その間、喫食率は学校間で差はあるものの、徐々に上昇してきたが、一部の学校が目標の 50%には達していない。喫食率の全体的な引き上げを進めるとともに、喫食率の低い学校の利用促進を図る。
- ②給食を生きた教材として活用して「食育」が推進できるよう、各校の協力を得ながら取り組む。

## 【2. 学校教育 (5) 施設等の整備】

### 1. 施策・事業の概要

- (1) 小学校・中学校の屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
- (3) 小学校・中学校のプール塗装改修工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
- (5) 小学校・中学校の消防設備改修工事
- (6) 中学校普通教室等空調設備設置設計業務
- (7) その他学校施設の営繕工事

### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 小学校・中学校の屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
  - ①富田林小学校屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
  - ②錦郡小学校屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
  - ③川西小学校屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
  - ④新堂小学校講堂非構造部材点検改修・アスベスト除去設計業務
  - ⑤第三中学校屋内運動場非構造部材点検改修設計業務
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
  - ①川西小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
  - ②小金台小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
  - ③第三中学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
- (3) 小学校・中学校のプール塗装改修工事
  - ①伏山台小学校プール塗装工事
  - ②藤沢台小学校プール塗装工事
  - ③喜志中学校プール改修工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
  - ①小学校受変電設備改修工事（伏山台・向陽台小学校）
  - ②中学校受変電設備改修工事（藤陽中学校）
- (5) 小学校・中学校の消防設備改修工事
  - ①小学校消防設備改修工事（富田林・小金台小学校）
  - ②中学校消防設備改修工事（葛城中学校）
- (6) 中学校普通教室等空調設備設置設計業務
- (7) その他学校園施設の営繕工事
  - ①小学校門扉設置工事（新堂小学校）
  - ②小学校埋設ガス管改修工事（錦郡・寺池台小学校）



- ③中学校プール公共下水道接続工事（第三中学校）
- ④中学校埋設ガス管改修工事（第三中学校）
- ⑤幼稚園給水管改修工事（錦郡幼稚園）
- ⑥幼稚園門扉改修工事（錦郡幼稚園）

### 3. 点検結果・評価

- (1) 平成 28 年度から平成 32 年度にかけて工事を計画している、小学校 17 棟・中学校 10 棟の屋内運動場非構造部材の耐震対策について、計画どおり小学校 4 棟、中学校 1 棟の設計業務を完了した。
- (2) 平成 24 年度から 1 校につき 2 ヶ所の老朽化したトイレ改修工事を小学校 2 校、中学校 1 校の計画で進めており、今年度も計画どおり、良好な教育環境の整備を推進し、トイレの洋式化率は、平成 27 年度末現在で 26.6%となった。
- (3・4) 継続事業として、経年劣化したプール塗装改修工事や受変電設備の安全対策工事を行い、良好な教育環境を確保することができた。
- (5) 経年劣化による機能低下を改善するため、新たに消防設備の安全対策工事に着手できた。
- (6) 年間を通じて生徒が快適な学校生活を送り、集中して学習できる教育環境を整えるよう、平成 28 年度から 32 年度に計画している全中学校普通教室等への空調設備の整備について、計画どおり設計業務を完了した。
- (7) 学校運営が滞りなく行えるよう、学校からの要望をふまえた営繕工事を行い、学校施設を安全で良好な環境に整備することができた。

### 4. 課題・方向性

- ・学校施設の屋内運動場は、児童及び生徒の安全確保はもとより、避難所としての機能を確保する必要があるため、今後も年次計画に沿って、非構造部材の耐震対策工事の取り組みを進めていく。
- ・トイレの大規模改修を行い、良好な教育環境の整備に努めているが、今後もトイレの洋式化率向上にむけ、継続して整備を進めていく必要がある。
- ・年次計画に沿って、中学校 3 年生の普通教室から空調設備の設置を進め、暑さ対策と共に受験を控える中学生の良好な学習環境の整備に努めていく。
- ・学校の校舎や付帯設備などの老朽化対策は十分には進んでおらず、今後、老朽化した学校施設を効果的・効率的に整備していくことが必要である。
- ・非構造部材の耐震化を含む工事や老朽化に伴う改造等の学校施設整備には、大きな財源負担が必要となるため、国庫補助金を最大限活用するなど財源の確保に努めていく。

### 【3. 生涯学習（1）生涯学習の推進 ①生涯学習・社会教育事業】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 社会教育委員会の開催
- (2) 社会教育団体の活動を支援するための事業
- (3) とんだばやし発見出前講座の実施
- (4) 人権教育の推進

#### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 社会教育委員会については会議を2回開催し、社会教育に関する事業計画や実施についての審議・検討を行った。
- (2) ①市PTA連絡協議会へは、PTA活動の資質向上のための研修や研究大会の開催、市内35校園のPTA教室開催等への支援を行った。  
②市婦人団体連絡協議会では、婦人の地位向上をはかるための各種研修会等の開催やボランティア活動に対して支援を行った。  
③市少年少女合唱団へは、広報活動について支援を行った。  
④市PTA連絡協議会及び市少年少女合唱団に対しその活動を支援するため補助金を交付した。補助金について協議・調整を行った。
- (3) とんだばやし発見出前講座は年間166回開催し、参加者数は5,731人で、「防災」や「健康」、「保育」についての依頼が多く寄せられた。メニューの更新を行った。  
【資料編 47 ページ参照】
- (4) 人権教育の推進では、人権文化センターで開催した識字教室に対して、講師謝金等の支援を行った。

#### 3. 点検結果・評価

- (1) 学校教育、社会教育、家庭教育の各分野の委員から多方面にわたる意見をいただいた。
- (2) 各社会教育団体への活動支援を行い、研修会など、様々な事業が開催された。市PTA連絡協議会では、PTA大会で「食でつなげる人&未来」をテーマに研修会を実施した。参加者からは、食を通じて食と人間関係の大切さを学んだとの感想をいただいた。
- (3) とんだばやし発見出前講座は市民の学習機会の充実を図るとともに、市の施策や状況など市政に関する市民の理解を深めることができた。
- (4) 人権教育では、識字教室を人権文化センターで毎週2回開催した。

#### 4. 課題・方向性

- ・生涯学習についての基本構想・基本計画（改定版）については、市の上位計画や国の生涯学習施策の動向に合わせてながら、検討する。
- ・社会教育団体への補助金交付については、団体補助から事業補助への切替を中心に補助の位置づけについて、協議・調整を行った。協議・調整後補助金対象事業内容や、事業経費が補助に値する事業なのかの、妥当性及び補助金額積算の正確性、提出された領収書が適正なのかについて検証が必要である。
- ・とんだばやし発見出前講座については、講座メニューの定期的な更新が必要である。
- ・識字教室については、引き続き予算措置を行うとともに、庁内関係課及び大阪府の識字・日本語学習連絡会議と連携を強める。

### 【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ②青少年対策事業】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 青少年育成と青少年活動を支援するための事業
- (2) こども会の育成及びチャレンジクラブ事業の開催
- (3) 成人式の開催
- (4) 放課後子ども教室の開催
- (5) 福祉青少年センターの運営
- (6) 「こどもインフォメーション」の発行
- (7) 子ども・若者支援の実施

#### 2. 平成 27 年度の取り組み状況

- (1・2) 青少年の健全育成を図るため、小学校区毎に委嘱された青少年指導員の活動を支援した。また、市こども会育成連絡協議会とボーイスカウト、ガールスカウトに補助金を交付した。補助金についての協議・調整を行った。
- (3) 成人式は 20 歳をむかえた青年を対象に、式典の実施と交流会として「はたちのつどい」を開催した。ポスター及びパンフレットの作成、オープニングセレモニーとして中学生吹奏楽演奏等を実施した。【資料編 48 ページ参照】
- (4) 放課後子ども教室は、地域社会全体で未来を担う子どもの豊かな成長を育むことを目的に、市内 16 小学校全てにおいて、放課後や週末に、地域のボランティアの協力を得ながらスポーツ活動や文化活動に取り組んだ。  
放課後子ども教室の小学校間のばらつきについては、指導員を他の学校へ派遣したり、取り組み内容について指導員交流会を開催することで、改善を目指した。  
【資料編 47 ページ参照】
- (5) 福祉青少年センターでは、青少年に自習室、大会議室、小会議室、多目的室を無料で貸し出しするほか、青少年以外の団体にも貸出を行った。【資料編 46 ページ参照】
- (6) 子どもを対象に実施される講座・教室・行事・イベント等を掲載した情報紙である「こどもインフォメーション」を幼稚園・保育園・小学校の園児及び児童全員に配布した。
- (7) 子ども・若者の引きこもり等の相談窓口を開設した。ひきこもりをテーマとしたシンポジウムを開催したほか、公民館と共催で「ひきこもり家族セミナー」を実施した。

#### 3. 点検結果・評価

- (1・2) 青少年指導員の活動内容については、近年の少子高齢化・核家族化・高度情報化などが進行し価値観や生活スタイルも多様化するなど大きく変化する中で、青少

年を取り巻く状況にも教育の低下、非行や犯罪の増加等に表れてきている現状の中で、こども会育成連絡協議会などの団体と連携しながら、各種スポーツ大会やチャレンジクラブ事業、たこあげ大会、非行防止の啓発活動等、当初計画した事業を実施することで、青少年の健全育成に寄与することができた。

- (3) 成人式は、対象者 1,378 人に対して、932 人の参加があり、出席率は 67.6%で、例年より低い出席率であった。
- (4) 放課後子ども教室では、開催回数 348 回、子ども延べ参加者数 11,746 人であった。前年比、回数で 9 回の減、参加者数で 1,347 人減であった。
- (5) 青少年センター利用については、今年度総利用件数は 1,093 件で、前年比 9 件増となった。【資料編 46 ページ参照】
- (6) 「こどもインフォメーション」掲載内容は、主に小学生以下が対象となっているため、中学生への配布を中止し、新たに市内私立幼稚園・小学校への配布を開始した。
- (7) 子ども・若者相談窓口の相談件数は、26 年度は 15 件だったが、27 年度は 13 件であった。

#### 4. 課題・方向性

- ・ 青少年指導員の活動内容については、青少年が社会の中で互いを尊重しあいながら共に生きていけるよう、社会性や規範性を育てていくことができるような、新たな取り組みが必要である。
- ・ こども会活動の活性化について、市こども会育成連絡協議会と引き続き、検討を進める。
- ・ 成人式について、参加 70%前後で推移しているのが現状ではあるが、新成人の参加率を上げる為に一昨年より中学生吹奏楽部の演奏をオープニングセレモニーとしてプログラムに取り入れるなどの工夫をしているが、引き続きプログラムの内容等の見直しによる、出席率の向上に取り組む必要がある。
- ・ 放課後子ども教室の実施については、共働き家庭等の児童を含めた、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるように総合的な放課後対策を進めるとともに、放課後児童クラブと連携した活動が行うことができる方法を検討する必要がある。
- ・ 「子ども・若者支援」については、独自取り組みの展開及び公的機関や民間支援組織との連携・協働について検討する必要がある。

### 【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ③市民文化の振興】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) すばるホールの運営
- (2) 市民会館の運営
- (3) 市民文化の振興
- (4) 市民文化祭の開催

#### 2. 平成27年度の取り組み状況

##### (1) すばるホールの運営【資料編 46 ページ参照】

公益財団法人富田林市文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行い、芸術文化鑑賞事業、参加創造事業、普及啓発事業、市民文化祭事業、プラネタリウム及び施設の管理運営事業等を行った。引き続き、賑わい創出を目的に季節をテーマとした館内イベントを実施した。

##### (2) 市民会館の運営

アクティオ株式会社を指定管理者として管理運営を行い、施設の貸館や受託事業として市民劇場を開催するとともに、自主事業としてレインボーホール講座を開催した。

##### (3) 市民文化の振興

文化振興基金を活用し、市内の文化団体の事業に対して、助成金を支出し、活動の財政的支援を行った。

##### (4) 市民文化祭の開催【資料編 49 ページ参照】

富田林市文化団体協議会を構成する団体の市民文化祭及び合同発表会としての芸能フェスティバル事業に対し補助金を交付した。

#### 3. 点検結果・評価

##### (1) すばるホールの運営

公益財団法人富田林市文化振興事業団と連携し、市民に多様な文化活動や鑑賞機会を提供するとともに、住民自ら参加し創造する機会も提供するなど市民文化創造の拠点にふさわしい施設運営に努めた。

##### (2) 市民会館の運営

貸館事業とともに多種多様な講座を企画し施設の利用促進に取り組んだ。

##### (3) 市民文化の振興

文化振興基金の活用については、6 団体 117 万円を予定していたが、2 団体、270,481 円の助成となった。

#### (4) 市民文化祭の開催

市文化団体協議会加盟の13団体により、コーラスフェスティバルや市民美術工芸展等の合計12事業を開催した。

#### 4. 課題・方向性

##### ・すばるホールの運営

施設や各種講座、イベント等への利用者数を増やすため、さらなる創意工夫が必要である。

また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

##### ・市民会館の運営

施設や各種講座、イベント等への利用者数を増やすため、さらなる創意工夫が必要である。

また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

##### ・市民文化の振興

文化振興基金は、当面、剰余金を文化振興基金に充てるとともに、文化振興基金の制度について引き続き検討が必要である。

##### ・市民文化祭の開催

補助金改革の中で制度変更を行ったが、変更後の設定の妥当性、事業内容の合理性、補助金額積算の正当性等、検証の必要がある。

### 【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ④図書館活動】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 図書館資料の貸出とサービスの充実
- (2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携
- (3) 障がい者サービス
- (4) 子どもの読書活動の推進
- (5) 高齢者へのサービスの推進

#### 2. 平成 27 年度の取り組み状況

##### (1) 図書館資料の貸出とサービスの充実【資料編 50 ページ参照】

- ①雑誌スポンサー制度を継続し部数増を更新した。この制度は図書館所蔵雑誌の購入負担をしていただき、その雑誌を広告媒体として利用してもらう制度である。地域貢献ができ、スポンサー負担分を他の雑誌購入に充てることで図書館所蔵雑誌を充実させることができた。
- ②貸出サービスと同時に、読書相談やレファレンスサービス(4,099件)にも積極的に取り組んだ。スマートフォン等の普及により簡易な調べ物は個人で解決できることもあり件数は年々減少傾向であるが、レファレンスの内容については、郷土に関することやより専門的なもので時間を要するものとなっている。
- ③広域相互利用の記念連携講座は、大阪狭山市も加わり三市で実施した。大阪大谷大学、大阪芸術大学、阪南大学の図書館との連携協力を継続し生涯学習社会の進展や市民の学習ニーズに応えることができるよう努めた。
- ④人権政策課との連携により、本市が勧める女性の活躍を応援する企画と関連本の展示を実施した。
- ⑤官公庁等からの寄贈による地域行政関係のDVDの貸出を開始した。
- ⑥図書館協議会(委員数10人)を2回開催し、図書館運営についての活発なご意見を伺った。

##### (2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携

図書館コンピュータシステムのインターネット環境の利便性の向上として、図書館のホームページに“本が読みづらい方へ”を開設し、大活字本や大人も楽しめる紙芝居等、障がいをお持ちの方や、高齢者の方へのサービスの紹介をした。また、府立図書館を始め、多くの図書館との相互貸借制度を利用して要望資料の迅速な提供(4,159冊)に努めた。また、他の図書館にも、貸出(1,658冊)提供した。

##### (3) 障がい者サービス

- ①朗読ボランティアと協働して対面朗読サービスや、市の「声の広報」に取り組んだ。



- ②音声訳ボランティア養成講習会を開催した。
- ③知的・学習障がい者（児）のためのLLブック（やさしく読める本）コーナーを金剛図書館に続き、中央図書館にも設置し、利便性の向上を図り、合わせて資料の収集にも努めた。
- ④心身障がい者への郵送サービスに努めた。

#### （４）子どもの読書活動の推進

- ①富田林市子ども読書活動推進計画に基づき、富田林市子ども読書活動推進会議を開催し、関係部署の数値目標達成に向けての取り組み状況の確認や情報交換を行った。また、「子ども読書活動推進連絡会」を開催し地域で子どもや子育てに関わる市民団体との情報交換や研修を行った。
- ②ブックスタート事業、あかちゃんのおはなし会、絵本の読み聞かせ、おはなし会などをボランティアと協働して実施した。金剛図書館で先行して開催していたあかちゃんのおはなし会を中央図書館でも開始した。  
子育て支援と子ども読書推進事業として、家庭での子育て支援、図書館でのブックスタートや、おはなし会を支援するボランティア養成講座を開催し、図書館ばかりでなく地域や学校で、本と子育てに関わる人材を育成し、市民と行政と地域が手を携え、子育て環境作りをめざした。
- ③小学1年生全員への図書館のオリエンテーションの実施や、ブック便で、学校図書館への配本の充実に努めた。  
学校図書館との連携により選定した伝記の絵本の展示・貸出を図書館で行い、市・教育委員会主催の「読書感想文コンクール～とっぴーと読もう！～」に協力した。
- ④保護者や子どもに身近な大人へ絵本や読み聞かせの啓発を行うため、お産センター、保育園、幼稚園、学童クラブに「図書館出前講座」を実施した。
- ⑤子どもの年齢に応じた絵本リスト5種類を更新し、保健センターでの健診や幼稚園、保育園等へ配布し情報提供を実施した。
- ⑥高齢介護課の認知症をテーマとした感想文の「MEET☆富田林コンクール」に関連本の貸出・展示等の協力をした。

#### （５）高齢者へのサービスの推進

- ①利用が増加している高齢者へのサービスとして、ニーズに応える大活字本やCDの収集に努めた。
- ②朗読ボランティアの協力により「おとなのための朗読会」を中央図書館でも開催し、サービスの推進を図った。

### 3. 点検結果・評価

- （１）広域相互利用の導入により、利用者ニーズへの対応が拡大した。また、河内長野市立図書館、大阪狭山市立図書館との三市連携講座を開催し受講機会の拡充を図り、好

評を得た。

- (2) 図書館コンピュータシステムによるホームページの情報更新により利便性の更なる向上と経費削減の継続が図られた。
- (3) LLブックの収集に努め、コーナーの拡大を図り、また心身障がい者用郵送貸出の増加を図った。
- (4) 「図書館出前講座」や子どもの年齢に応じた絵本リストの配布により、子ども読書活動の推進に継続して取り組んだ。あかちゃんのおはなし会を中央図書館でも開催し子育て支援の拡充を図った。
- (5) 高齢化社会への対応に向けて、ニーズに応える資料（大活字本や朗読CD）の収集・提供をした。おとなのための朗読会は好評を得たため、中央図書館でも開催し、受講機会を拡充した。

#### 4. 課題・方向性

- ・ 図書館サービスについての点検を行い、その利便性の向上に努める。
- ・ 館内で新聞、雑誌等を閲覧し長い時間を図書館で過ごされる、滞在型となっている高齢者のニーズに応える―資料の収集・提供や行事の開催の継続及び読書環境の整備とともに、高齢者の利便性を考えたサービスを検討する。
- ・ 視覚障がい者登録の方へ「おとなのための朗読会」の開催をご案内する等、障がい者サービスの更なる向上に取り組む。
- ・ 子ども読書活動推進計画に基づき、毎年「子ども読書活動推進会議」、及び「子ども読書活動推進連絡会」を開催し関係部署や関係団体と連携を密にしながら子ども読書活動の推進を図る。
- ・ 「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」策定に取り組む。

### 【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ⑤公民館活動】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
- (2) 公民館クラブ連絡会（中央、東、金剛）・協議会の育成・指導
- (3) 公民館運営審議会の開催

#### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供  
多彩な主催講座（3館合計76講座）を大学・専門機関等と協力して実施するとともに、公民館クラブや公民館特技登録者等地域の人材を活かしたイベント事業などを実施した。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導  
市民の自主的な社会教育活動である公民館クラブ活動活性化のために、活動の周知やクラブ連絡（協議）会との連携協力事業を実施した。
- (3) 公民館運営審議会の開催  
7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業計画等の審議を行った。

#### 3. 点検結果・評価

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供
  - ・市民企画講座などの事業を行ない、地域の人材育成を図った。また地元の大学や高校と連携協力した事業の実施、アートによるワークショップ、地産地消の料理講座など効率的、効果的な事業を実施しマスコミやミニコミ誌にも取り上げられた。
  - ・公民館ホームページ、市ウェブサイトお知らせ欄などを活用し、事業のPRを行なった。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
  - ・「納涼の夕べ」（東）、「田辺うたごえ喫茶」（中央）「お茶の出ない歌声喫茶」「認知症予防講演会や映画会」（金剛）など地域に密着した催しを公民館と協力し実施し、地域文化の向上・今日的課題の解決に寄与した。
  - ・「公民館まつり」「クラブ体験デー」など3館共同の事業を実施し、クラブ活動の活性化を図った。
  - ・市の人口が年々減少している中で、3公民館ともクラブ数クラブ員数とも、ほぼ昨年並みまたは、東・金剛では若干の増加が見られ、高齢社会において、公民館活動の重要性が伺える。【資料編 51・52 ページ参照】

### (3) 公民館運営審議会の開催

- ・公民館主催事業に関して、学校との連携のあり方や、青年層や子育て世代等の利用の拡大、講座申し込みの方法などについて意見交換を行なった。

## 4. 課題・方向性

### (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供

- ・講座の成果を、広く市民と共有するための情報発信方法を検討していく。
- ・青年層、勤労者層の参加を促進するため、ネットによる講座申し込みについて、検討していく。
- ・「公民館だより」の充実と併せ、ホームページの事業情報を見た参加者が増えていることから、更新頻度を高めていくとともに、スマートフォン対応のホームページへの変更も検討していく。

### (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導

- ・公民館クラブの活性化を目指し、新規クラブ及びクラブ員の加入促進を図る。
- ・今後、クラブ連絡会・協議会の活動をより自主的に多様な活動が展開できるよう、育成指導に努める。
- ・利用が少ない勤労者や若者が参加しやすい活動内容、及び時間帯のクラブ育成を図る。
- ・公民館クラブ連絡会に未加入の団体に対して、加入を呼びかけていく。

### (3) 公民館運営審議会の開催

- ・各種研修会への参加など、委員の研修機会の充実を図る。
- ・今後の公民館のありかたや事業内容について、審議会の意見をできるだけ反映できるように、年間2回の開催時期について検討する。

### 【3. 生涯学習 (2) スポーツ振興】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 生涯スポーツの普及振興
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

#### 2. 平成27年度の取り組み状況 【資料編 53・54 ページ参照】

- (1) 生涯スポーツの普及振興
  - ①市民の体力向上と健康増進を図るため、スポーツ教室、トレーニング講習会・相談、体力測定会を開催した。
  - ②地域スポーツの振興と地域コミュニティ意識の高揚を図るため、地区ファミリーレクリエーション、健康ウォーキング、おでかけ健康ウォーキング、夏休みラジオ体操教室を開催した。
  - ③『いつでも・どこでも・だれでも』気軽に参加できる行事として、親子・ファミリーにふれあいの場と健康づくりの場を提供するチャレンジ・ザ・ウォークを開催した。
  - ④スポーツ・レクリエーションの技術向上だけでなく、いろいろな人とのふれあいの中で人間関係をコーディネートできる自主性のあるリーダーを養成することを目的として、ジュニア・スポーツリーダー・スクールを開催した。
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催
  - ①市をあげてのイベントとして、行政をはじめ地域の各種団体が支援協力することにより地域の活性化を図り、プロ野球を通じてスポーツの振興と市民生活の向上に寄与するため富田林ドリームフェスティバルを開催した。
  - ②市民の体育向上を目的として、富田林市民体育大会（25 競技）、富田林市民マラソン大会、南大阪駅伝競走大会（南河内6市2町1村）を開催した。
  - ③スポーツ・レクリエーションの普及・振興を目的として、富田林市民スポーツ・レクリエーション祭を開催した。
  - ④市民の健康増進と体力向上を図るため、川西地区にあった市営プールを大規模改修し、誰もが楽しんでいただける施設として平成27年度に、富田林市民プール（アクアパークきらめき）を開設した。

#### 3. 点検結果・評価

- (1) 生涯スポーツの普及振興

子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にしたスポーツ教室や地域でのスポーツ・レクリエーション活動、ジュニアスポーツリーダー講習を開催することにより市民の健康・体力づくり並びに社会体育指導者の養成が促進できた。
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

各種スポーツ大会・事業等の開催については、市民の体育向上を目的として、一

人でも多く参加できる事業・大会を開催することによりスポーツ普及・振興を図ることができた。また、平成23年度で閉鎖していた市民プール4箇所の内、1箇所を全面改修し、27年度より開設を行い、市民の健康増進と体力向上を図ることができる施設として多くの市民の利用があった。

#### 4. 課題・方向性

- ・スポーツ教室の開催については、指定管理者より、27年度途中から子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にした、より多くの各種スポーツ教室の開催が行われた。各種教室の開催日の増加に伴い、既存利用団体との日程調整の協議が必要となっている。
- ・市民体育大会の開催や各種スポーツ・レクリエーション関係団体の事業や大会等を支援するとともに、身近な地域のスポーツ活動を楽しむことができる環境をソフト・ハード両面から整備し、市民のスポーツに参加する機会の増加に努める。
- ・学校体育施設は地域の生涯スポーツの普及・振興に不可欠なものとして定着している。その一方、施設利用上の安全管理やモラルの問題、施設備品等の取扱いや破損時の修繕費負担（相手方が不明時）などの課題がある。
- ・地域の活性化につながる、市をあげてのイベントとしての「富田林ドリームフェスティバル」を開催する。今後ともこの事業を通じ、更なるシティセールス及び市民満足度を上げるための、先進的な取り組みを検討していく。

## 【3. 生涯学習 (3) 文化財の保存と活用】

### 1. 施策・事業の概要

- (1) 富田林寺内町地区の保存と活用
- (2) 埋蔵文化財の保存と活用
- (3) その他文化財の保存と活用

### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) ・富田林寺内町地区の保存については、町家の修理・修景事業を3件実施するとともに、長年の懸案であった地区全域での伝統的建造物群保存地区指定に向けて、伝統的建造物群保存地区追加事業を27年度よりスタートした。初年度の27年度は、年次計画どおり住民への意向調査を実施した。
  - ・地区内の施設活用については、3施設（旧杉山家住宅・旧田中家住宅・寺内町センター）でイベントや展示会を8回実施した。【施設利用者数については55ページ参照】
- (2) ・埋蔵文化財の保存については、埋蔵文化財の事前調査を11件実施し、本格的な発掘調査を6件実施した。また、開発行為にかかる試掘調査を14件実施した。
  - ・市立埋蔵文化財センターの管理運営については、センター2階展示室の見学者を173人、資料調査で1人を受け入れた。
  - ・埋蔵文化財の活用については、また、学校や地域からの申し込みによる講座に7件の職員の講師派遣を行うとともに、府立近つ飛鳥博物館等へ資料貸出を行った。かがりの郷において、出土遺物の展示3回と歴史講座1回を実施した。
- (3) ・その他文化財の保存については、文化財の除草・清掃業務を行い、適正管理に努めた。
  - ・その他の文化財の活用については、学校他からの申し込みによる講座に10件の講師派遣を行うとともに、市民他からの各種文化財の照会等による回答や資料貸出、研究者への協力を行った。また、文化財に関して市ウェブサイトや広報紙、facebookにおいて啓発活動を実施した。
    - ・文化財保護条例の制定に向けて、大阪府下の制定状況を調査した。

### 3. 点検結果・評価

- (1) 寺内町地区の歴史的町並みの保全について、地区内の町家の修理・修景に対する補助事業を進めるとともに、懸案であった地区全域での伝統的建造物群保存地区指定実現に向けて、27年度より伝統的建造物群保存地区追加事業に着手するなど、着実に成果をあげている。

(2) 展示会や歴史講座などの啓発事業を引続き実施したことで、本市の貴重な文化財を市内外へ発信するとともに、文化財資料や既存施設の有効活用にもつながったが、さらに事業展開していく必要がある。

#### 4. 課題・方向性

- ・ 寺内町地区内の町家の修理・修景に対する補助事業を進めるとともに、地区全域での伝統的建造物群保存地区指定実現に向けて、年次計画に沿った着実な事業推進を図る。
- ・ 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理について、指定管理などの効率的な管理・運営方法を検討すると同時に、施設の整備・改修や文化財資料の整理選別を年次的に行う必要がある。
- ・ 市域の貴重な歴史的遺産等を保存するため、文化財保護条例の制定に取り組み、関係機関等との調整に努める。
- ・ 文化財資料を適正な環境で保管する施設が必要である。
- ・ 魅力ある歴史的遺産の情報発信に努めるとともに、展示会・歴史講座をさらに発展させる必要がある。
- ・ 新堂廃寺跡の史跡整備に向けて、これまで実施してきた調査成果を総括し、整備計画の策定に努める。



### 【3. 生涯学習 (4) 施設等の整備】

#### 1. 施策・事業の概要

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
- (2) すばるホールの施設管理運営
- (3) 市民会館の施設管理運営
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
- (5) じないまち交流館の施設管理運営
- (6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営
- (7) 市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の施設管理運営
- (8) (仮称) 複合的生涯学習プラザ整備着手

#### 2. 平成27年度の取り組み状況

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営  
福祉青少年センターの施設及び設備の修繕等を行った。  
①館内エアコン修理 ②消防用誘導灯バッテリー交換
- (2) すばるホールの施設管理運営  
指定管理者との協定に基づき、すばるホールの施設管理運営及び設備の修繕等を行った。  
①大ホール舞台吊物機構設備改修 ②高架水槽漏水修繕
- (3) 市民会館の施設管理運営  
指定管理者との協定に基づき、市民会館の施設管理運営及び設備の修繕等を行った。  
①浄化槽設備修繕 ②汚水処理施設ブロアーポンプ修繕  
③多目的ホール空調設備修繕
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
  - I. 中央公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。  
・多目的トイレの改修・別館和室天井の修繕ほか9件
  - II. 金剛公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。  
・ロビー壁面壁紙張替え・ホール用机更新・1階トイレ改修工事・1階外側自動扉修繕ほか13件
  - III. 東公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。  
・屋外受電設備改修修繕ほか5件

(5) じないまち交流館の施設管理運営

指定管理者である富田林寺内町をまもり・そだてる会が行った。

(6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営

旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理を直営で行い、各施設・設備の修繕及び改修を行った。

- ①旧杉山家住宅 西蔵外壁修繕ほか3件
- ②寺内町センター 会議室空調設備修繕
- ③じないまち展望広場 垣根門扉修繕
- ④旧田中家住宅 異蔵木製庇設置、乾蔵外壁修繕ほか1件

(7) 市内社会体育施設の管理運営

指定管理者との協定に基づき、社会体育施設の管理運営及び設備の修繕等を行った。

- ①市民プール会議室用エアコン設置
- ②市民総合体育館事務室用エアコン設置（入替）
- ③総合スポーツ公園野球場会議室系統エアコン修繕
- ④総合スポーツ公園多目的競技場ネットフェンス拡張工事
- ⑤総合スポーツ公園野球場バッテングゲージ購入

(8) (仮称) 複合的生涯学習プラザの整備に着手した。

### 3. 点検結果・評価

すばるホール・市民会館・公民館・図書館・旧杉山家住宅・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設の整備及び設備の修繕・更新を行い、利用者が安全・安心に施設利用することができた。

また、指定管理者との協定に基づき、すばるホール・市民会館・じないまち交流館・社会体育施設の施設管理運営を適正に行った。

### 4. 課題・方向性

・福祉青少年センター

公会堂跡地施設新設後の、現センターのあり方を考える必要がある。

・すばるホール

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

・市民会館

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

・公民館・図書館

施設の老朽化等に対して、適切な修繕等を行い、利用者にとって安全・安心な社会教育施設としての機能維持に努める。

① ユニバーサルデザインを目指し、すべての市民が利用しやすい施設づくりに努める。

② 中央・東・金剛・喜志分館の施設・設備・備品の整備・改修・更新に努める。

・旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の老朽化に伴う施設整備を適切に行い、利用者の安全と快適性の確保に努めるとともに、指定管理などの効率的な管理・運営方法を考える必要がある。

・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の老朽化に伴う整備・改修を年次的に行い、安全・安心に利用できる施設づくりに努める。また、施設の部分的な修繕や改修・メンテナンスを行い、長寿命化を図ることにより、大規模改修の時期を遅らせることができ、結果的にコスト縮減に繋がるものと思われる。

・公会堂跡地に（仮称）複合的生涯学習プラザの新設工事を行い、管理・運営について検討する。

## 教育に関する事務の点検・評価報告書(平成 27 年度実績)の所見

学校法人 関西外国語大学外国語学部 教授 岡澤潤次

平成 27 年度の施策を対象とした富田林市教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について、教育総務部並びに生涯学習部の各課等の課別業務、主要事業実績の点検評価に関する具体的な説明を受け、第三者からの視点でその所見を述べる。

本報告書は、前年度との相違点を明確に記載しわかりやすい。これまでの経験から年々洗練し報告書が各部署、各課いずれも精査されてきている。多様な市民が行政活動に参加できるしくみづくり、行政職員が市民意識を把握するしくみづくりや市民と行政の協働を推進するしくみづくり等第 4 次総合計画「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」を踏まえ、市民と一体となる積極的な行政推進方針通り進めている。

1. 教育委員会の活動状況、2. 学校教育、3. 生涯学習及び事務事業に関する資料を添付し、教育に関する事務事業が一覧され、その点検・評価も見やすく編集されている。テーマごと、1. 施策・事業の概要、2. 平成 27 年度の取り組み状況、3. 点検結果・評価、4. 課題・方向性という 4 点で整理されている。

限りある財政状況を踏まえ、平成 27 年度の実施された施策については、各事業課題を誠実に検討・考察し、必要度の高い事務事業を優先的に取り組み、適切な事業が実施され、市の教育行政の推進に日常的かつ継続的に尽力されている。

さて、平成 23 年の未憎悪な東日本大震災を経て、大きな自然災害に備えた防災対策の必要性に鑑み子どもの安全確保を重視しつつ、トイレの大規模改修や空調設備整備等学校施設の改善・整備に取り組み、年間を通じて子どもたちが快適な学校生活を送れる教育環境を整えるよう鋭意進められている。併せて近隣住民の緊急避難場所としての機能をより充実する施策を着実に進めている。

なお、「教育に関する事務の点検・評価報告書」作成に当たり、課別業務・主要事業一覧の参考資料をもとにした教育委員会事務局各課が事務事業の説明と意見交換により相互点検ができ、点検評価及び課題と方向性が明らかになった。また、本報告書が市民への説明責任を果たす役割を担っていて意義深いものになっていると考える。

次年度も教育に関する事務の点検・評価において、なお一層の充実を図り、教育行政の発展を期待し、以下各テーマ項目について、特徴的な点に絞って所感を記述する。

### 1. 教育委員会の活動状況について

◇ 「地方教育行政の組織運営に関する法律」の一部改正を受け、市長と教育委員が調整を行う総合教育会議を教育総務課に設け、本市教育の活性化に努めている。

◇ 定例委員会議はじめ諸行事や委員研修会、学校視察等積極的な活動を進め、教育状況の的確な把握に努め、教育の一層の充実を推進している。

## 2. 学校教育について

◇ 幼稚園での一人ひとりの育ちを促進する保育や小・中学校での少人数加配によるきめ細かな指導、ALTの配置による英語教育・外国語活動を精力的に推進しグローバル人材の育成、スクールカウンセラーの活用と市費スクールソーシャルワーカーの増員による支援の強化で児童・生徒、保護者への相談体制の確立を図ったこと、教員の指導力向上による学力育成を図る等幾多の施策を拡充している。

また、いじめ、不登校等の問題事象の未然防止のため、「居場所づくり」等改善に取り組み、楽しい学校園づくりを展開している。このような市の組織的な対応や積極的な生徒指導体制の更なる推進が一層の成果につながるように考える。

◇ 健やかで豊かな人間性を育む教育の面では、総合的な人権尊重教育を実施し、各種研究会等と連携して一定の成果を創出している。支援教育においても市教委主催の研修を通して自閉症や発達障がい等についての一層の理解を促し、各教職員の指導力向上を目指し、家庭に対しても、支援や指導方法の理解に努めている。

◇ 学校力の向上は教育の切実な使命である。教員一人ひとりの指導力及び校長の学校経営手腕と組織力にかかっている。全国学力・学習調査から子どもの学校や家庭の学習等克服すべき課題を把握し、市が組織した「学力向上プロジェクト」を推進しつつ、更なる教育実践を継続されるよう期待する。

◇ 市の学校給食は関係者の尽力により年々前進している。中学校給食を始める際、「給食は未来への投資」という本市市長の強いメッセージがあった。その具現化は子どもたちの成長を期するためにも必要不可欠であろう。小学校給食は、基本構想に基づき基本計画が策定され、新学校給食センターの実現が図られている。調理運営についても民間委託とし、課題であった給食費の徴収管理業務について公平性・透明性を確保し、学校現場の事務等の軽減を実現した。一方、中学校は自校方式により理想的な学校給食が可能となり、実施後5年経過し、喫食率は学校間で差があるものの全体的に徐々に引き上げられてきた。さらに喫食率引き上げを目指して、喫食率の低い学校の利用促進を図り、学校給食の意義や食育の理念を更に周知徹底する必要がある。

## 3. 生涯学習について

多岐に渡って生涯学習・社会教育事業を展開し、生涯学習が推進されている。社会教育委員会がコアとなり社会教育団体の活動支援、出前講座、人権教育の推進等精力的に進めている。

◇ 青少年対策事業においては、少子高齢社会に突入し、核家族化が進み、生活スタイルや価値観が多様化する中で取って推進する必然がある。青少年を取り巻く状況は厳

しい中、例えば、こども・若者の引きこもり等の相談窓口の開設、「ひきこもり家族セミナー」やシンポジウムなどは課題解決に相応しい取組である。

成人式は、参加率70%の横ばいで推移しているが、若者の意識の活性化を図るため、プログラムに工夫を施すなど参加率向上に努めているが、一層の努力を期待する。また、放課後子ども教室の運営についてもすべての児童が放課後等を安全・安心で有意義に過ごせるよう総合的な対策の検討を進めることを念願する。

- ◇ 市民文化の振興事業は指定管理等運営改革等工夫し、振興に努めている。
- ◇ 図書館や公民館活動等生涯学習事業は市民サービスと生涯学習ニーズに対応した学習機会拡大に努め、公民的資質の涵養と市民文化の発展を促進している。
- ◇ スポーツ振興においては、生涯スポーツの普及と体育向上に向けたイベントが活発に行われている。市民のニーズに寄り添い、多くの市民が参加しやすい体制及び指導員の養成が求められる。市民が一層主体的に自主運営にすることにより、誰もがスポーツに親しみ、意識の活性化と環境づくりを進める必要がある。
- ◇ 文化財は市の貴重な財産であり、誇りである。従って、文化財の保存と活用について、富田林寺内町地区、埋蔵文化財その他の文化財の保存と活用を図るとともに重要な史料の散逸を防止しなければならない。さらに、文化財に関して広報と啓発活動を進め、市民の協力のもと文化財の価値を広く市民に認識できる取り組みを進めて文化の香り高い街づくりの推進を期待する。
- ◇ 生涯学習施設等の整備において、各施設の老朽化対策、耐震化対応等整備・改修工事を計画的、年次的に進め、バリアフリー化など市民が安全・安心して利用できるよう施設整備を図られていることに敬意を評し、今後も一層の尽力を願う。
- ◇ 少子高齢社会にあつて、市民のニーズに寄り添い、市民の自主性、自発性を促し、生涯学習についての市民意識の高揚と醸成に努めることを念願する。

## 「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成27年度実績）」への所見

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科教授 森田英嗣

### 1. はじめに

所見を述べさせていただくのは、今回で7回目となった。今回も、「意見交換会」の形で、直接に施策の担当者からのお話をきくことができ、その心意気を肌で感じたところである。また、7回目ともなると、PDCAのサイクルを、エビデンスに基づいた判断を行いながら回していくプロセスが、特別なものではなくなってきたように感じられる。以下、個々の施策カテゴリごとに所見を記述する。

### 2. 学校教育に関する施策にかかわって

- (1) 「幼児教育・学校教育の充実」については「幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成」及び「明るく楽しい学校園づくり」が目指されている。本市では従前より退職校長等による「教育カウンセラー」に加え、「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」の配置にも取り組んできたが、27年度は市費による「スクールソーシャルワーカー」を増員したとのことである。量を増やすこと自体はたいへん頼もしい施策であるといえるが種々の研究を見てみても、配置された「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」が教員とどのように連携していくか、すなわちそれによって支援の質をどう担保してくかは、必ずしも自明ではない。「チーム学校」の実現をするためにも、今後の課題として意識され、確実に支援の手がそのニーズを持つ児童・生徒に届くようにしていただきたい。
- (2) 「健やかで豊かな人間性を育む教育」については、「人権尊重の教育の推進」、「支援教育の推進」、「人間性を育む教育の推進」が目指されている。学校では巡回相談のニーズが増え、その依頼回数が増加傾向にあるという。ニーズが増えることは意識が高まってきていることの現れであると思われる。28年4月からの「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）の施行とも関連があろう。いずれにしても、みなぎ意識を向けているそのときにそのニーズに的確に応えるような支援を行っていくことに、今後とも労を惜しまないでいただきたいと思う。また、昨年度開発された「つながるファイル」の活用の取り組みも引き続き期待したい。
- (3) 「学校力の向上」については、「教員の指導力向上、学校力の向上」、「地域に開かれた学校づくり」が目指されている。27年度は、「全国学力・学習状況調査」より「国語の修得状況や家庭学習、読書習慣に課題があることが明らかになった」という。読書習慣については、学校の努力や家庭の協力に加え、引き続き市立図書館との連携も視野に入れていただき、全市的な展開を期待したい。
- (4) 「学校給食の推進」については、小学校中学校共に「学校給食の安全・安心な

実施」、「学校給食の効果的・効率的な運営」が目指されると共に、小学校では「給食費の徴収管理業務」「学校給食センター建替事業」の実施が目指された。さらに、中学校では『給食の日』を始めとした喫食率向上に向けた取り組みの実施」が目指されてきた。小学校における徴収管理業務では「富田林市債権管理マニュアル」に基づいた督促や催告、支払い督促等に取り組み、徴収業務を教員に担わせない形が実現した。これは、教員が教育業務に集中できるようになるという点でたいへん意味がある。中学校において喫食率の向上に向けての取り組みとして、全生徒に無料で給食を提供する「給食の日」の実施や、PTAでの試食会、子育て世代を対象にした市内バスツアーで給食を提供するなど、給食の理解を引き出す事業に大変興味深いアイデアがみられた。この間の喫食率の上昇もこうした事業の成果といえよう。

- (5) 「施設等の整備」については、小中学校の「屋内運動場非構造部材点検改修設計業務」、「トイレ改修工事」、「プール塗装工事」、「受変電設備改修工事」、「消防設備改修工事」、また中学校の「普通教室空調設備設置設計業務」などが実施されてきた。富田林市においては、幼稚園を含めて耐震化が既に完了しており、これにつづき、27年度からは非構造部材の耐震対策がはじまっている。他市にくらべても早目の対応になっており、施策の力強さが感じられる。トイレの洋式化率の向上も目指されており、家庭の実態に合わせた対応がなされている。

### 3. 生涯学習に関する施策にかかわって

- (1) 「生涯学習の推進」の「①生涯学習・社会教育事業」については「社会教育委員会の開催」など全4事業が計画実施され、今年度の出前講座には「とんだばやし発見」の名称にも見られるように講座のメニューの更新もなされ、参加者も3倍近くに膨らんでいる。今後とも市民のニーズを踏まえた学習機会の提供にご尽力いただきたい。

「②青少年対策事業」については「青少年育成と青少年活動を支援するための事業」「こども会の育成及びチャレンジクラブ事業の開催」など全7事業が計画実施されてきた。公民館との共催による「ひきこもり家族セミナー」を実施するなど、青少年の「ひきこもり」や「不登校」へも目配せをしたバランスのとれた事業が行われているように見受けられた。「成人式」や「放課後子ども教室」の参加者が伸び悩みの傾向であるとのことであるので、ニーズの把握をはじめとして原因の特定を期待したい。

「③市民文化の振興」については、「すばるホールの運営」を始めとして全4事業が計画実施されてきた。文化振興基金の活用で、当初は6団体117万円の予算を見込んでいたが、実際には2団体27万円程度の執行にとどまったとのことである。これについてはニーズの把握や原因の特定を期待したい。



「④図書館活動」については、「図書館資料の貸し出しとサービスの充実」を始めとして全5事業が計画実施されてきた。図書館は市民の情報センターであり、さまざまな連携の要となる施設である。地域企業との連携、他の図書館との連携、人権施策との連携、福祉セクターとの連携、学校や子育て事業との連携など多様な連携が見て取れた。一生涯にわたるさまざまなサービスの展開に今後も期待したい。

「⑤公民館活動」については、「公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供」を始めとして全3事業が計画実施されてきた。ここでも、連携による事業実施がキーワードになっており、地域の大学や高校との連携が目についた。また市民自らが参加し、企画する機会などが大切にされていて、本事業自体が市民育成の場になっていることがうかがえた。今後とも、この方向での事業の計画と実施を期待したい。

- (2) 「スポーツ振興」については「生涯スポーツの普及振興」、「体育向上に向けた各種大会・事業との開催」が計画実施されてきた。市民の主体的参加によるスポーツ文化の振興が目指されており、市民参加の行政の展開という点で大変興味深い。27年度においても、「おでかけ健康ウォーキング」、「チャレンジ・ザ・ウォーク」など、工夫に満ちた行事の開催が目についた。ただし、施設利用上の安全管理やモラルの課題等も出てきているとのことで、持続可能な行事の実施方法が今後とも探究される必要があるだろう。
- (3) 「文化財の保護と活用」については「富田林寺内町地区の保存と活用」、「埋蔵文化財の保存と活用」、「その他の文化財の保存と活用」が計画実施されてきた。「伝統的建造物群保存地区指定」にむけた準備として「住民への意向調査」が行われるとともに、伝統的建造物群保存地区追加事業に着手し、同時に地区内の施設活用の活性化事業が様々に行われている。今後は、指定管理などの効率的な管理運営を目指すとのことであり、実現を期待したい。さらに、学校との連携を模索し、今以上に地域教材として活用される方途を探ってよいと思われる。
- (4) 「施設等の整備」については「福祉少年センターの施設管理運営」を含め全8事業が計画実施されてきた。施設の管理運営の合理化や老朽化への対応など、多面的に実施されてきたことがうかがえる。老朽化への対応は、単に現状を維持するだけでなく、ユニバーサルデザイン化も視野に入れられている。今後とも、市民のニーズに応える能力の維持・発展を目指していただきたい。

#### 4. おわりに

以上、個々の施策カテゴリごとに、所見を述べてきた。今回は改めて、事業を横断するような連携の重要性に気づかされたように思う。換言すれば、連携がどれだけ多様に仕組めるかが施策を展開させるうえでの一つの腕の見せどころではないだろうか。

## 《資料編目次》

1. 教育委員会所管施設（1）市立学校園等	39
（2）生涯学習・社会教育施設	40
2. 富田林市の人口推移	41
3. 年度別児童・生徒・園児数の推移	42
4. 就学援助	43
5. 奨学金	43
6. 全国学力・学習状況	43～44
7. 小学校、中学校の不登校の状況	44
8. スクールカウンセラーの相談件数	44
9. 教育農園活用（栽培活動実施）状況	44
10. 中学校給食 喫食率の推移	45
11. 小学校給食 実施状況	45
12. すばるホール施設利用状況	46
13. 福祉青少年センター利用状況	46
14. 放課後子ども教室参加状況	47
15. 出前講座開催状況	47
16. 成人式 参加状況	48
17. 市民文化祭 参加状況	49
18. 図書館利用状況	50
19. 公民館利用状況等	51～52
20. スポーツ施設利用状況	53
21. スポーツ事業参加状況	54
22. 杉山家住宅等入館者推移	55
23. 寺内町地区の修理・修景実績推移	55
24. 市内の文化財	55

# 1. 教育委員会所管施設

## (1) 市立学校園等

### [小学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	児童数 H27.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	明 5. 5. 14	12,998	6,355	5,021	723	310
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	明 6. 10. 1	18,542	7,859	7,817	1,365	457
喜志小学校	木戸山町1番36号	明 6. 2. 25	10,328	4,692	4,212	673	457
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	明38. 5. 11	12,183	6,964	4,843	725	465
彼方小学校	大字彼方411番地	明 6. 5. 1	16,066	6,081	4,861	720	258
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	明 5. 8. 15	10,833	5,101	4,315	743	301
川西小学校	新家一丁目3番1号	明26. 4. 1	15,469	6,609	4,997	725	398
東条小学校	大字龍泉566番地	明 5. 5. 1	12,766	4,942	2,970	636	129
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	昭43. 1. 8	15,993	6,646	6,154	703	166
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	昭44. 4. 1	19,803	9,156	5,659	758	297
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	昭45. 1. 1	17,558	6,693	6,189	754	467
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	昭52. 4. 1	18,581	6,990	3,904	727	312
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	昭53. 2. 22	17,268	9,496	3,019	725	304
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	昭55. 4. 1	28,760	15,517	5,242	726	426
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	平元. 4. 5	24,275	11,181	6,443	919	502
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	平 2. 4. 1	26,754	9,774	5,793	919	214

### [中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	生徒数 H27.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	昭22. 4. 1	25,372	13,326	8,115	983	467
第二中学校	新家一丁目4番1号	昭25. 4. 1	22,458	13,508	5,915	1,213	500
第三中学校	大字佐備15番地	昭46. 4. 1	25,889	12,351	6,002	850	442
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	昭43. 1. 8	30,253	14,481	7,914	1,018	456
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	昭55. 4. 1	33,310	17,177	6,198	1,018	267
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	昭58. 4. 1	21,781	8,134	5,178	795	430
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	昭61. 4. 1	29,400	15,890	5,837	1,182	325
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	平 2. 4. 1	26,586	13,507	5,001	968	296

### [幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 H27.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	大 3. 10. 1	2,554	906	34
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	昭28. 4. 10	3,411	942	29
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	昭29. 4. 10	1,541	421	31
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	昭29. 4. 1	2,340	660	51
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	昭28. 2. 4	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	昭49. 4. 1	2,522	441	37
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	昭29. 4. 20	1,957	424	27
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	昭29. 4. 10	2,912	727	35
東条幼稚園	大字龍泉566番地	昭49. 4. 10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	昭52. 4. 11	4,821	700	22
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	昭55. 4. 10	1,700	462	14
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	昭31. 4. 1	2,884	970	37
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	平 5. 4. 12	2,000	667	74

### [給食センター]

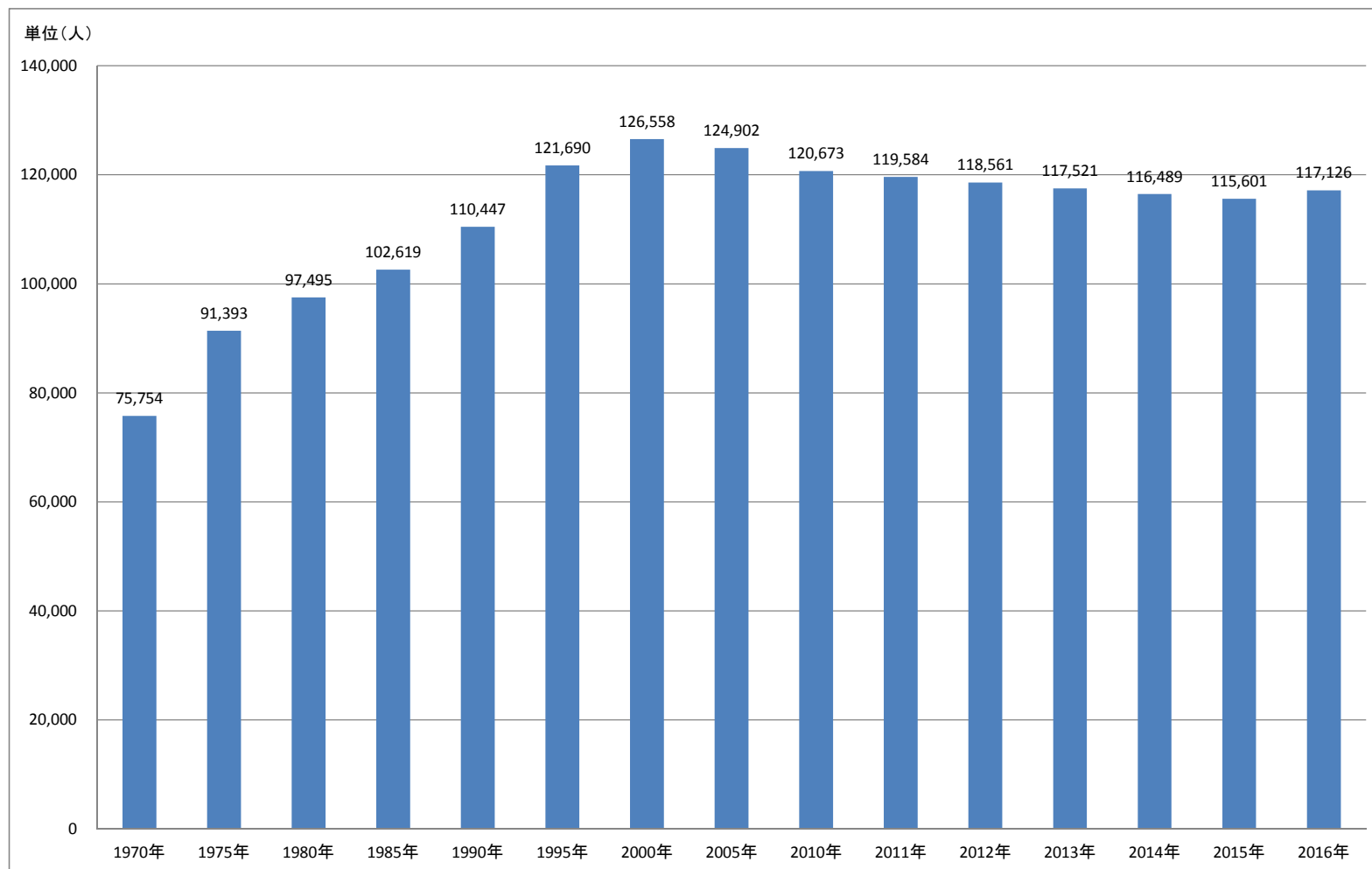
施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延べ床面積(㎡)	調理食数(食)
第1学校給食センター	昭47. 3	3,482	1,760	3,800
第2学校給食センター	建て替え工事中			

## (2) 生涯学習・社会教育施設

施設名	建設年月	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	主要な施設
すばるホール	平成3年10月	10,136	18,799	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム、レセプションホール、音楽練習室、各種会議室
市民会館(レインボーホール)	昭和50年3月 平成元年3月	9,511	9,625	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室
(仮)複合の生涯学習プラザ	建設中	786		
福祉青少年センター	昭和46年7月	539	737	各種会議室、自習室
旧杉山家住宅(重要文化財)	昭和62年9月	1,432	720	
寺内町センター	平成3年3月	320	301	休憩室、展示室、会議室
じないまち交流館	平成18年3月	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽
じないまち展望広場	平成22年3月	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽
埋蔵文化財センター	平成3年3月	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室
旧田中家住宅	平成24年3月	770	233	和室1、和室2
中央公民館	昭和51年3月	3,503	1,747(図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室
中央図書館	昭和51年3月	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛図書館	昭和58年2月	3,205	1,816(公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛公民館	昭和58年2月	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室
東公民館	昭和56年3月	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室
中央公民館喜志分館	平成12年4月	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室
中央図書館東分室	昭和56年6月	東公民館内	57	図書室
中央図書館喜志分館	平成元年5月	市民会館内	77	図書室
市民総合体育館	昭和55年10月	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室
総合スポーツ公園	平成6年3月	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面)、ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコース
青少年スポーツホール	昭和46年3月		1,069	競技場
青少年教育キャンプ場	昭和46年3月	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場
テニスコート 中野	昭和52年8月	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
金剛東	昭和56年4月	1,385	—	アンソーカー2面
金剛	昭和53年11月	680	—	アンソーカー1面
津々山台	昭和63年7月	1,600	—	アンソーカー2面
津々山台第2	平成8年4月	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド 金剛中央	昭和44年10月	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
金剛東	昭和56年4月	7,630	—	軟式野球
喜志プール横	昭和40年12月	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
喜志(河川敷)	昭和53年9月	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
川西(河川敷)	昭和53年11月	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
西板持(河川敷)	昭和56年4月	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
石川(河川敷)	平成19年4月	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
若松東	平成22年4月	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
中野2号公園	昭和58年2月	3,600	—	ソフトボール1面
中野3号公園	昭和58年1月	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
錦織多目的	平成27年4月	7,751	—	グラウンドゴルフ他
ゲートボール場 彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
津々山台	平成10年4月	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ 川西(河川敷)	平成22年4月	8,660	—	グラウンドゴルフ2面
市民プール(アクアパークきらめき)	平成27年4月	3,483	—	25mプール、幼児用プール

## 2. 富田林市の人口推移

年	人口
1970年	75,754
1975年	91,393
1980年	97,495
1985年	102,619
1990年	110,447
1995年	121,690
2000年	126,558
2005年	124,902
2010年	120,673
2011年	119,584
2012年	118,561
2013年	117,521
2014年	116,489
2015年	115,601
2016年	117,126



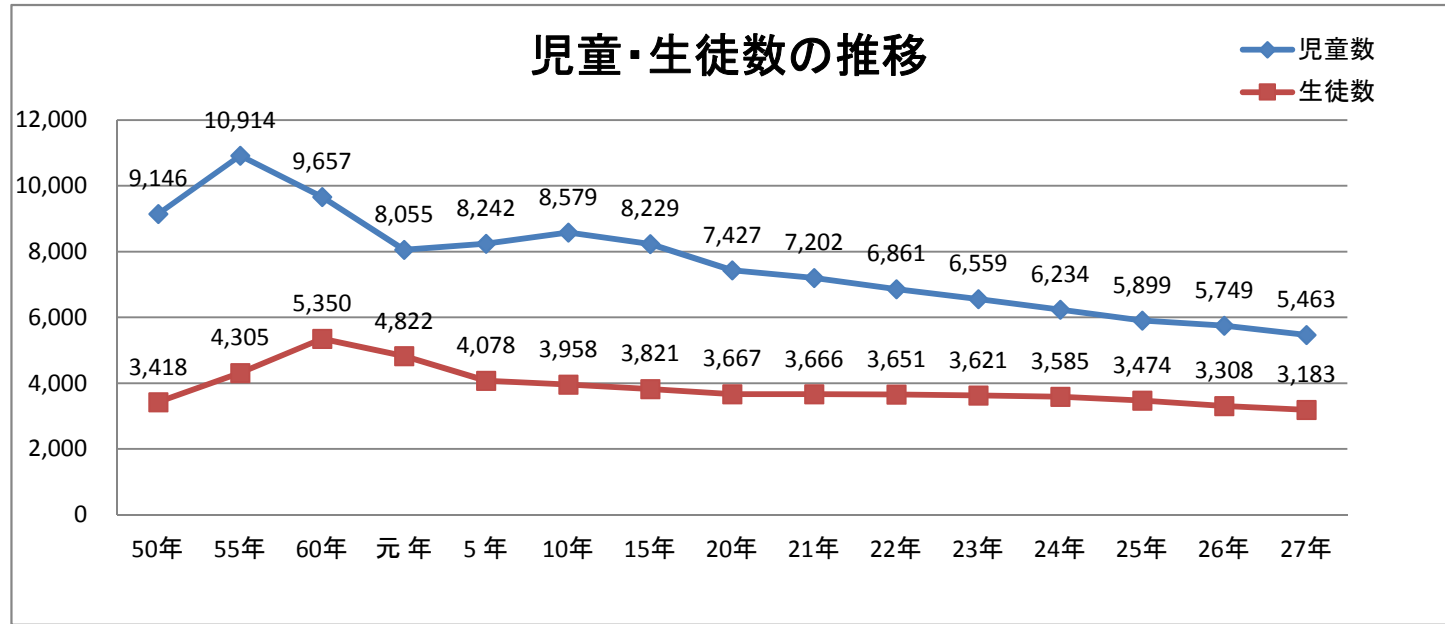
※1970年～2000年 国税調査

※2005年以降 富田林市人口表(各年3月末時点)

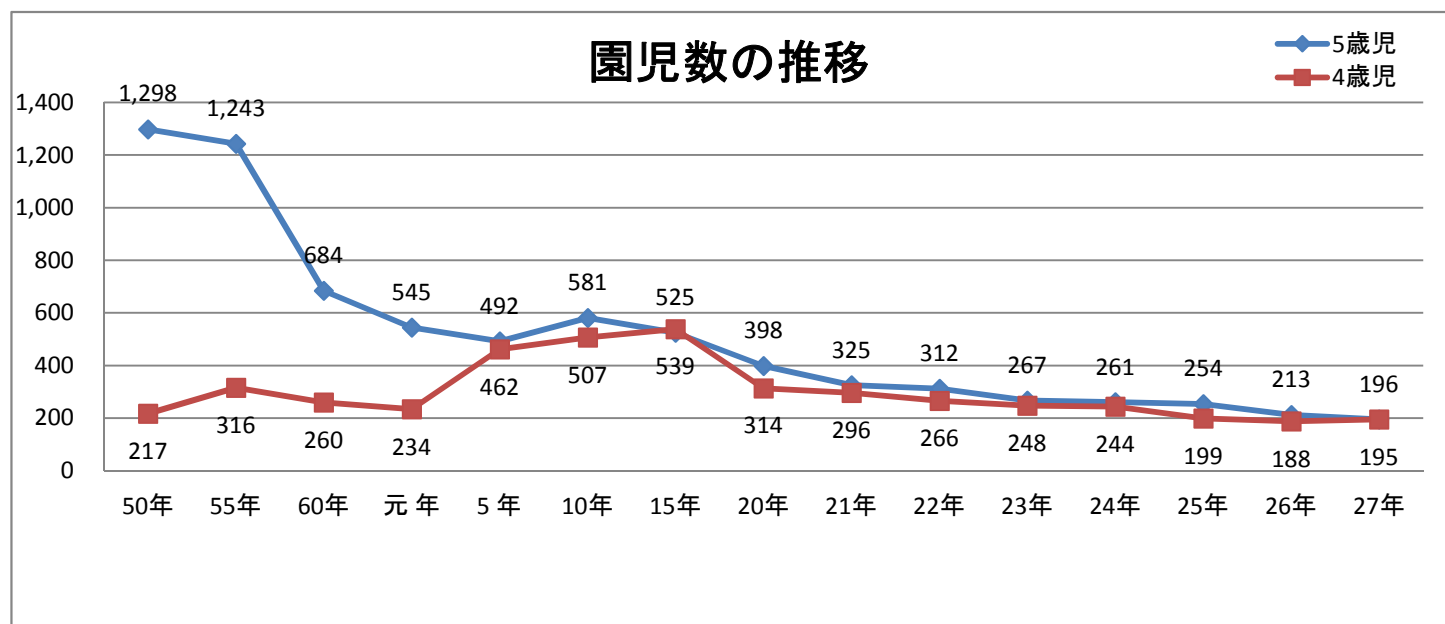
### 3. 児童・生徒数・園児数の推移

※各年 5月1日現在

年	児童数	生徒数
50年	9,146	3,418
55年	10,914	4,305
60年	9,657	5,350
元年	8,055	4,822
5年	8,242	4,078
10年	8,579	3,958
15年	8,229	3,821
20年	7,427	3,667
21年	7,202	3,666
22年	6,861	3,651
23年	6,559	3,621
24年	6,234	3,585
25年	5,899	3,474
26年	5,749	3,308
27年	5,463	3,183



年	5歳児	4歳児
50年	1,298	217
55年	1,243	316
60年	684	260
元年	545	234
5年	492	462
10年	581	507
15年	525	539
20年	398	314
21年	325	296
22年	312	266
23年	267	248
24年	261	244
25年	254	199
26年	213	188
27年	196	195



#### 4. 就学援助

就学援助認定者数(要保護+準要保護)

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	1,952	1,781	1,652	1,623	1,520
中学校	1128	1135	1111	1042	951
合計	3,080	2,916	2,763	2,665	2,471

就援率

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	29.8%	28.2%	28.0%	28.2%	27.8%
中学校	31.2%	31.3%	32.0%	31.5%	29.9%
合計	30.3%	29.3%	29.5%	29.4%	28.6%

#### 5. 富田林市奨学金

	H23	H24	H25	H26	H27
支給者(人)	114	117	118	118	120
申請者数(人)	239	211	264	261	312

#### 6. 全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	88.5(88.1)	71.1(73.1)	60.5(61.2)	69.7(70.7)	67.1(67.6)
中学校	69.8(69.0)	65.9(65.1)	75.2(73.3)	80.0(77.0)	75.3(74.4)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	65.4(64.9)	65.2(65.5)	47.0(47.9)	51.6(52.6)	62.2(62.7)
中学校	53.9(53.2)	48.5(47.3)	64.8(63.0)	50.5(47.2)	68.2(64.8)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	62.5(63.4)	63.0(63.6)	76.3(77.1)	78.6(77.3)	75.4(74.8)
中学校	63.2(62.1)	66.7(65.5)	61.0(61.7)	69.4(65.0)	66.5(64.3)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	50.3(51.2)	41.4(42.9)	56.4(57.3)	57.2(56.3)	44.2(44.1)
中学校	39.6(38.7)	40.8(40.4)	38.9(38.8)	61.5(56.9)	42.2(41.4)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

「家で学校の宿題をする」

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	94.6(94.3)	94.9(95.6)	95.5(96.3)	95.4(96.3)	97.3(96.7)
中学校	86.1(78.7)	83.4(78.3)	85.3(81.1)	88.3(84.3)	87.1(85.8)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	68.7(66.4)	72.6(68.8)	77.8(72.8)	75.9(73.0)	80.7(74.5)
中学校	58.0(55.8)	59.3(57.5)	67.5(64.2)	69.7(65.4)	70.2(68.1)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ( )大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

「人の役に立つ人間になりたい」

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	90.7(89.2)	91.1(90.0)	93.3(92.7)	93.4(93.0)	94.4(92.6)
中学校	88.9(87.7)	88.6(87.9)	92.9(91.4)	93.5(92.4)	93.6(92.8)

## 7. 小学校、中学校の不登校の状況

(単位:‰ 千分率)

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	2.7	2.8	4.2	6.6	8.1
中学校	34	34.8	37.6	37.8	43.7

## 8. スクールカウンセラーの相談件数(のべ人数)

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	730	683	684	851	787
中学校	4,313	5,303	4,598	2,897	2,118

## 9. 教育農園活用(栽培活動実施)状況

	H23	H24	H25	H26	H27
小学校内	16	16	16	16	16
小学校外	11	10	9	10	10
中学校	8	8	8	8	8



## 10. 中学校給食 喫食率の推移

	喫食率(%)					開始時期	H27年度 実施日数 (日)	生徒数(人) (H27年5月1日)
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
葛城中学校	57.5	57.2	57.2	59.3	59.7	H19年1月	146	267
明治池中学校	39.7	45.3	54.2	56.2	60.3	H22年1月	147	296
第三中学校	19.8	26.2	34.6	41.6	42.6	H22年1月	138	442
喜志中学校	32.1	41.7	45.3	51.4	53.8	H22年2月	152	430
第二中学校	20.8	23.6	24.4	26.6	28.2	H22年3月	144	500
藤陽中学校	31.5	37.6	36.2	35.2	36.6	H23年1月	146	325
第一中学校	15.8	18.5	17.5	23.9	27.5	H23年2月	135	467
金剛中学校	32.3	44.1	48.3	51.1	50.0	H23年2月	148	456
全 校	29.3	34.9	37.7	41.8	43.5	—	174	3,183

## 11. 小学校給食 実施状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
学校数	16	16	16	16	16
年間給食数	1,238,318	1,189,201	1,142,034	1,108,516	1,064,158
一日平均 給食数	6,749	6,359	6,139	5,991	5,721

12. すばるホール施設利用状況

(利用率=利用日数/利用可能日数)

項目	23年度			24年度			25年度			26年度			27年度		
	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数
ホール	166	58.1%	68,646	151	54.0%	59,638	145	50.5%	57,414	145	49.1%	49,935	156	52.2%	51,904
小ホール	269	75.7%	25,861	247	76.9%	20,906	349	93.2%	32,572	367	93.5%	28,906	363	93.2%	25,397
レプションホール	159	54.8%	53,024	147	51.3%	43,215	150	52.1%	43,221	140	48.6%	41,017	135	45.9%	39,876
会議室1	385	88.0%	5,987	352	83.8%	5,864	329	79.9%	5,641	338	84.8%	5,272	298	72.2%	4,184
会議室2	579	84.3%	9,376	660	92.1%	11,188	670	91.2%	11,247	679	91.5%	10,145	678	89.1%	10,363
会議室3	263	70.1%	10,231	308	75.6%	11,270	258	69.9%	9,780	220	64.2%	8,254	204	58.0%	8,073
リハーサル室	422	94.8%	26,930	466	93.9%	29,179	504	95.1%	30,700	556	94.2%	30,937	564	96.2%	28,123
展示室	169	56.5%	28,366	164	56.9%	18,275	151	49.3%	14,924	149	48.8%	12,158	152	48.4%	16,773
美術室(カルチャールーム)	323	78.4%	6,245	347	78.2%	6,102	354	78.9%	7,189	307	67.7%	5,747	342	68.6%	5,951
音楽練習室	373	80.5%	4,976	409	86.8%	5,316	368	80.7%	5,219	382	79.4%	5,300	405	81.4%	5,304
プラネタリウム室	26	8.8%	2,081	30	10.0%	2,325	29	9.8%	2,532	25	8.7%	2,123	27	8.9%	1,735
合計	3,134	68.2%	241,723	3,281	69.0%	213,278	3,307	68.2%	220,439	3,308	66.4%	199,794	3,324	64.9%	197,683

13. 福祉青少年センター利用状況

(利用率=利用件数/利用可能区分数) ※区分=1日4区分、但し日曜日は3区分

項目	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
大会議室	520	45.8%	542	47.7%	564	49.0%	576	51.0%	573	50.1%
多目的室	37	3.3%	246	21.6%	242	21.0%	257	23.0%	273	23.8%
小会議室	304	26.8%	184	16.2%	319	28.0%	251	22.0%	247	21.6%
サークル作業室	176	15.5%	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2
合計	1,037	22.9%	972	28.5%	1,125	33.0%	1,084	32.0%	1,093	31.6%

※2) サークル作業室は、スポーツ振興課移転に伴い、平成24年3月より閉室。

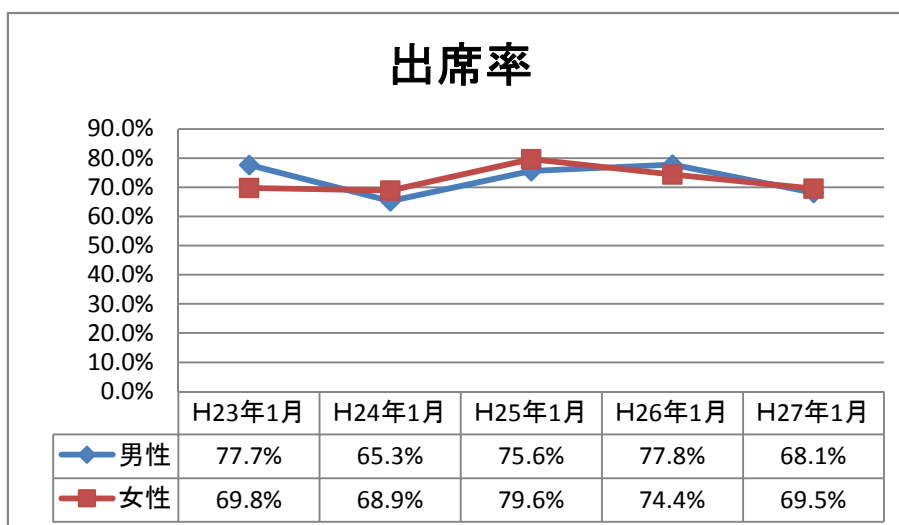
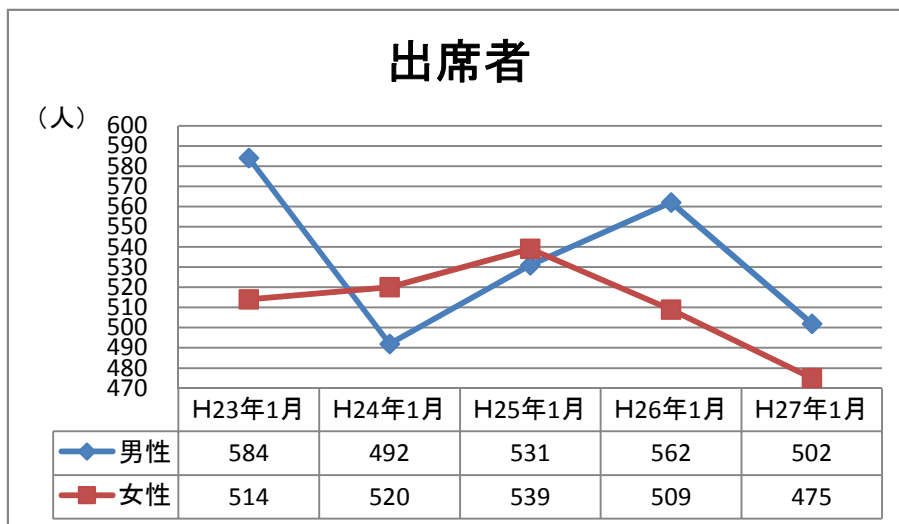
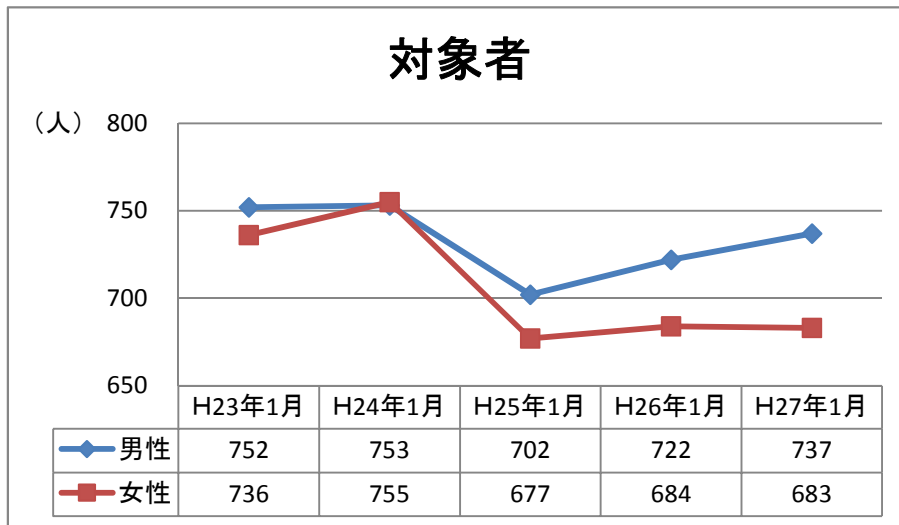
14. 放課後子ども教室 参加状況

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
富田林	回数	30	30	28	29
	参加児童数	752	675	652	607
	在籍児童数	363	334	321	316
新堂	回数	10	9	10	9
	参加児童数	354	233	299	222
	在籍児童数	562	520	508	449
喜志	回数	7	8	10	10
	参加児童数	214	346	317	369
	在籍児童数	520	502	482	449
大伴	回数	15	16	18	17
	参加児童数	505	666	540	516
	在籍児童数	540	516	491	449
彼方	回数	26	22	23	21
	参加児童数	646	561	504	684
	在籍児童数	339	316	285	256
錦郡	回数	17	16	16	16
	参加児童数	1,065	1,242	1,467	1,254
	在籍児童数	374	340	325	285
川西	回数	25	19	21	18
	参加児童数	1,408	1,114	1,136	860
	在籍児童数	538	471	431	368
東条	回数	30	28	30	30
	参加児童数	470	469	462	423
	在籍児童数	128	131	129	110
高辺台	回数	15	15	15	11
	参加児童数	546	536	513	356
	在籍児童数	195	182	176	162
久野喜台	回数	18	17	19	16
	参加児童数	965	689	797	639
	在籍児童数	324	312	326	305
寺池台	回数	28	22	25	23
	参加児童数	1,225	871	1,247	1,145
	在籍児童数	487	476	486	492
伏山台	回数	24	21	22	22
	参加児童数	1,008	1,044	1,123	717
	在籍児童数	275	281	299	308
喜志西	回数	18	18	16	17
	参加児童数	860	885	340	378
	在籍児童数	314	322	304	293
藤沢台	回数	29	30	34	41
	参加児童数	1,128	1,020	1,163	1,241
	在籍児童数	449	430	420	416
小金台	回数	18	19	21	26
	参加児童数	1,130	1,281	1,235	1,221
	在籍児童数	554	532	532	493
向陽台	回数	45	51	49	42
	参加児童数	1,386	1,183	1,298	1,114
	在籍児童数	272	234	234	221
合計	回数	355	341	357	348
	参加児童数	13,662	12,815	13,093	11,746
	在籍児童数	6,234	5,899	5,749	5,372

15. 出前講座 開催状況

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
回数	48	64	55	63	166

16. 成人式 参加状况

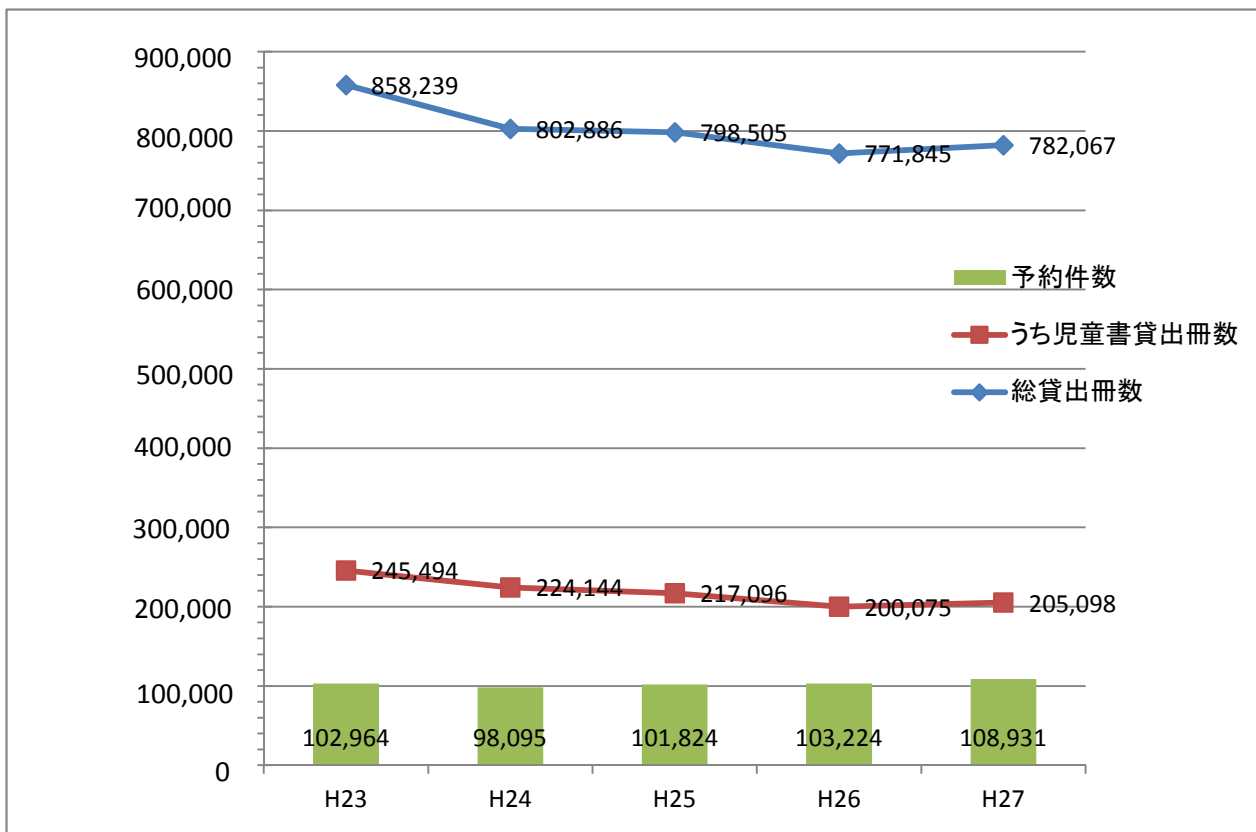


17. 市民文化祭 参加者状況(人)

行 事 名	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
コーラスフェスティバル	500	500	500	500	500
市民美術工芸展	333	333	284	258	258
箏・三絃・尺八演奏会	101	104	100	113	132
民謡大会	80	70	80	78	67
謡曲大会	21	30	30	32	26
詩吟大会	155	130	156	105	144
ミュージック フェスティバル	171	135	79	143	101
茶華道大会	87	59	73	55	46
川柳大会	93	111	78	95	98
市民舞蹈会	132	109	114	118	96
芸能フェスティバル	220	125	32	100	183
ダンスフェスティバル	326	360	274	263	270

## 18. 図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H23	193,700	858,239	245,494	102,964	408	809
H24	192,295	802,886	224,144	98,095	427	793
H25	221,116	798,505	217,096	101,824	250	700
H26	219,750	771,845	200,075	103,224	46	735
H27	226,876	782,067	205,098	108,931	53	761



## 19. 公民館利用状況等

項 目		H23	H24	H25	H26	H27
中央公民館	1 主催講座延べ開催数	229	185	203	240	200
	2 主催講座学習者数(人)	3,026	3,560	2,832	3,653	2,544
	3 イベントその他の事業延べ開催数	25	19	16	17	3
	4 公民館クラブ数	56	53	53	48	48
	5 公民館クラブ員数	997	948	940	875	863
	6 年間施設利用件数	2,992	2,389	2,353	2,467	2,496
	7 年間施設利用者数	42,075	33,095	33,058	35,232	34,454
	8 施設年間平均稼働率(%)	52	45	42	43	44
東公民館	1 主催講座延べ開催数	76	80	77	71	87
	2 主催講座学習者数(人)	1,089	1,193	1,461	1,152	1,309
	3 イベントその他の事業延べ開催数	15	12	12	15	12
	4 公民館クラブ数	35	38	38	37	37
	5 公民館クラブ員数	486	516	536	521	522
	6 年間施設利用件数	1,687	1,768	1,707	1,621	1,585
	7 年間施設利用者数	22,162	23,795	24,173	22,918	23,578
	8 施設年間平均稼働率(%)	38	34	39	36	35
金剛公民館	1 主催講座延べ開催数	85	84	67	77	73
	2 主催講座学習者数(人)	1,440	1,423	1,306	1,680	1,229
	3 イベントその他の事業延べ開催数	17	19	19	18	4
	4 公民館クラブ数	52	53	52	56	56
	5 公民館クラブ員数	920	941	853	870	874
	6 年間施設利用件数	3,095	2,994	2,830	2,969	2,863
	7 年間施設利用者数	43,158	41,571	40,407	39,039	38,757
	8 施設年間平均稼働率(%)	54	51	52	48	49

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

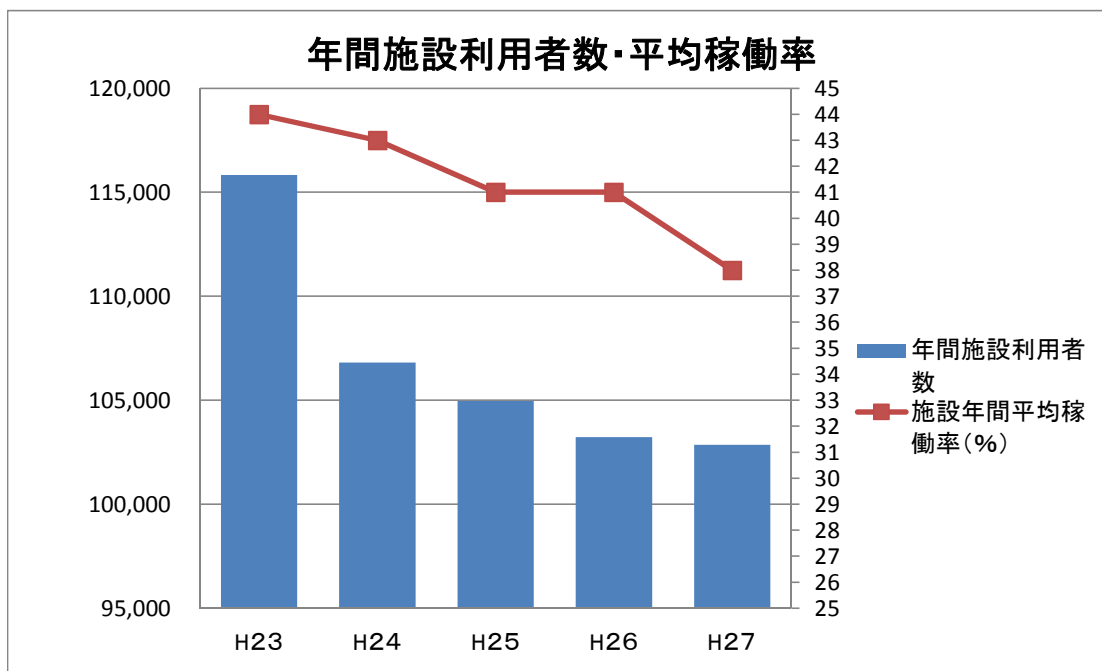
※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

		項 目	H23	H24	H25	H26	H27
喜志分館	1	年間施設利用件数	762	758	684	549	548
	2	年間施設利用者数	8,444	8,365	7,336	6,043	6,081
	3	施設年間平均稼働率(%)	32	31	30	23	23
総合計	1	主催講座延べ開催数	390	349	347	388	360
	2	主催講座学習者数(人)	5,555	6,176	5,599	6,468	5,082
	3	イベントその他の事業延べ開催数	57	50	47	50	19
	4	公民館クラブ数	143	144	143	141	141
	5	公民館クラブ員数	2,403	2,405	2,329	2,266	2,259
	6	年間施設利用件数	8,536	7,909	7,574	7,606	7,492
	7	年間施設利用者数	115,839	106,826	104,974	103,232	102,870
	8	施設年間平均稼働率(%)	44	43	41	41	38

(稼働率=年間利用件数/年間利用可能区分)

利用区分=1日3区分、但し日曜日は2区分

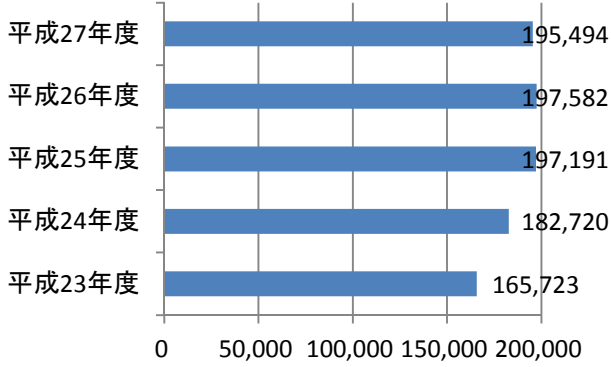
※東・金剛ホールは平日4区分



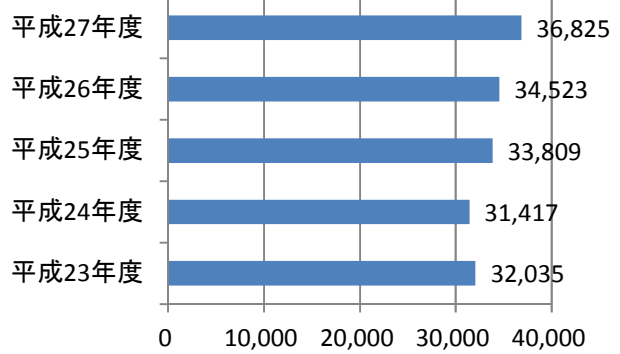


20. スポーツ施設利用状況

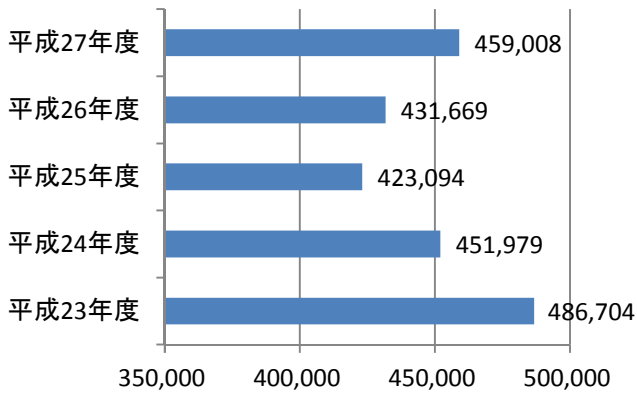
市民総合体育館  
利用人数



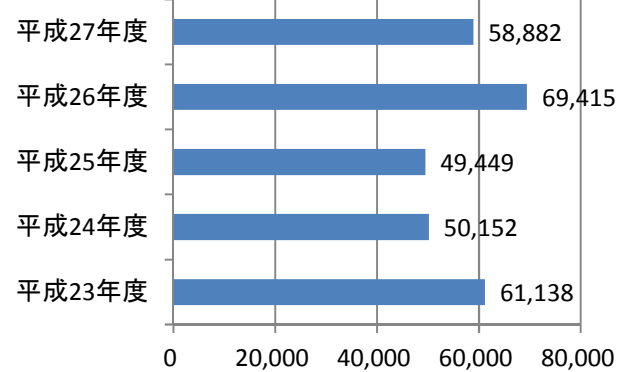
青少年スポーツホール  
利用人数



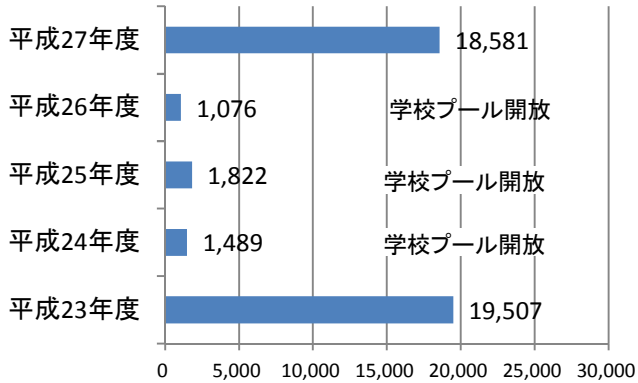
グラウンド 利用人数



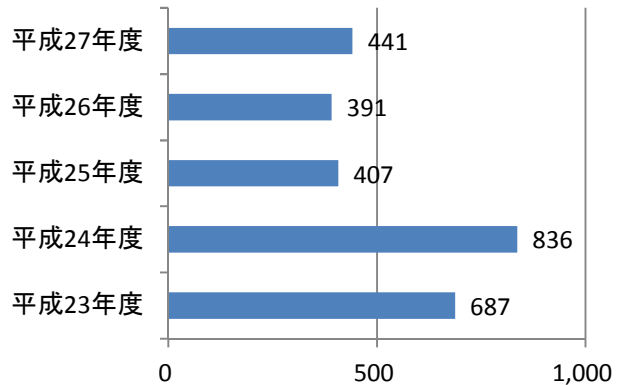
テニスコート  
利用人数



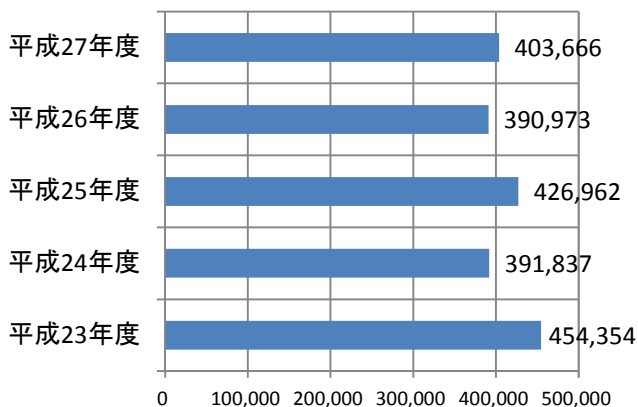
市営プール  
利用人数



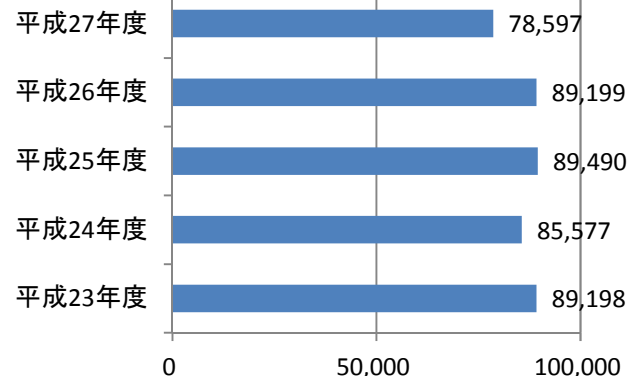
青少年教育キャンプ場  
利用人数



学校体育施設 利用人数

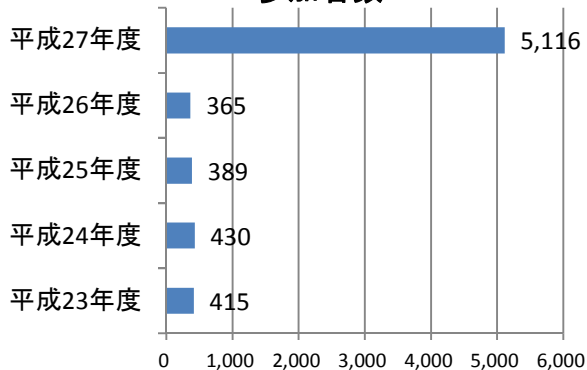


総合スポーツ公園  
利用人数



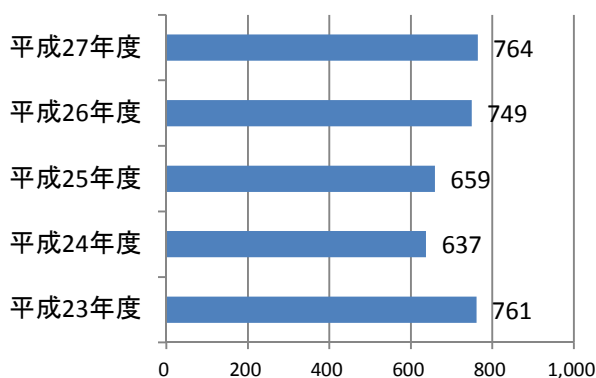
## 21. スポーツ事業参加状況

### スポーツ教室 参加者数

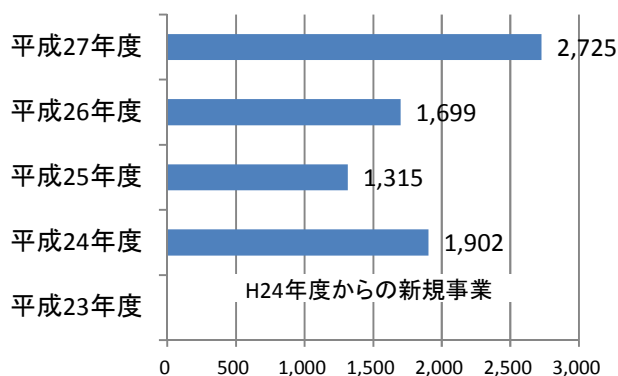


※注  
 スポーツ教室は、昨年までは、前期(10回シリーズ)・後期(10回シリーズ)の実施で、申込者数の集計。  
 27年度途中からは、各教室が通年開催(毎週1回開催)となったため延べ参加者数の集計。

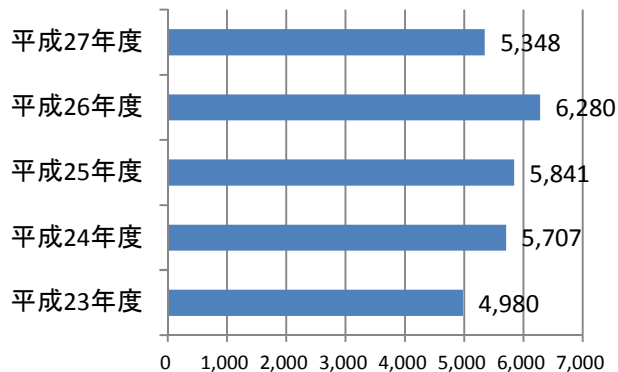
### ジュニア・スポーツリーダー・ スクール参加者数



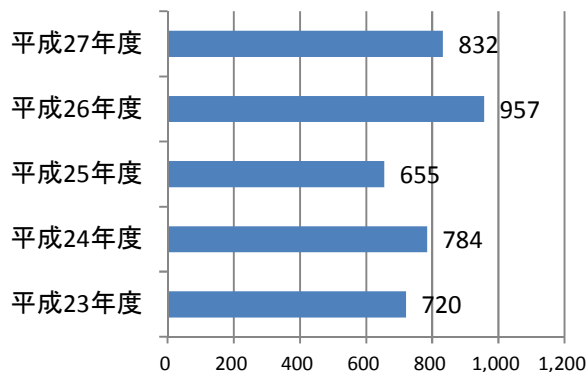
### ドリームフェスティバル 参加者数



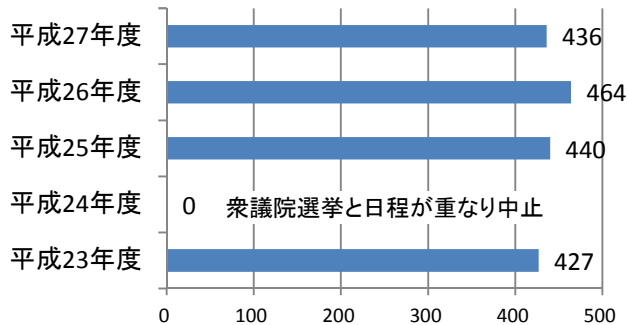
### 市民体育大会 参加者数



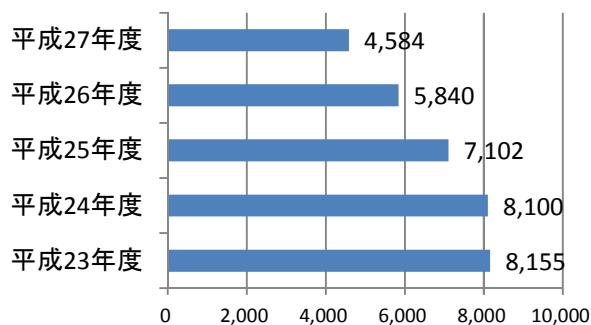
### スポーツ・レクリエーション祭 参加者数



### 市民マラソン大会 参加者数



### 夏休みラジオ体操教室 参加者数



22. 施設入館者推移

単位: 名

施設名	23	24	25	26	27
重要文化財 旧杉山家住宅	9,869	11,843	9,326	10,973	10,533
寺内町センター	1,936	1,930	1,248	1,547	1,694
じないまち交流館	23,352	33,006	31,493	34,061	34,068
旧田中家住宅	—	5,728	9,688	7,902	6,916

23. 寺内町地区の修理・修景実績推移 単位: 件

事業名	23	24	25	26	27
富田林伝統的建造物群 保存地区保存事業	1	3	4	3	3
街なみ環境整備事業	3	1	0	0	0

24. 市内の文化財

(平成28年4月1日現在)

国指定(選定)文化財	種類	種別	名称	指定年月日	所在地
	有形文化財	重要文化財	建造物	にしにおり じんじゃほんでん 錦織神社本殿	昭25. 8.29
せつしゃかすが しゃほんでん (錦織神社) 撰社春日社本殿 せつしゃてんじんしゃほんでん (錦織神社) 撰社天神社本殿				昭44. 6.20	〃
りゅうせんじ におうもん 龍泉寺仁王門				昭36. 3.23	大字龍泉888
きゅうすぎやま けしゅうたく 旧杉山家住宅				昭58.12.26	富田林町14-31
記念物	史跡名勝天然記念物(名勝)	とんだばやしこうじょうじ べついんほんどう たいめんしよ しょうろう 富田林興正寺別院本堂・対面所・鐘樓 ころう さんもん おなりもん ・鼓樓・山門・御成門 つけたりついでい へい むね 附 築地塚3棟	平成26.9.18	富田林町13-18	
		たきだにふ どうみょうおうじ もくぞう ふ どうみょうおう 瀧谷不動明王寺 木造不動明王 及 どう じりつぞう 二童子立像	昭31. 6.28	大字彼方1762	
		りゅうせんじ さいえん 龍泉寺庭園	昭56. 5.11	大字龍泉888	
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区	じゅうさんじゅうとう 十三重塔	昭10. 5.20	東板持町二丁目2-17内	
		しんどう はいじあと つけたり いけかわら がまあと かめいし 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・お亀石 こふん 古墳	平14.12.19	緑ヶ丘町 大字中野	
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区	とんだ ばやししとんだばやしじゅうようでんとうでき 富田林市富田林重要伝統的 けんぞうぶつぐん ほぞん ちく 建造物群保存地区	平 9.10.31	富田林町の一部	

国登録有形文化財	指定種別	名称	登録年月日	所在地
建造物	建造物	くず はら けじゅうたく みなみずはら べつてい しゅおく ぞう こ 葛原家住宅(南葛原 別邸) 主屋・倉庫	平10. 4.21	常盤町1-12
		すぎた けじゅうたく しゅおくくら 杉田家住宅 主屋・蔵	平12.12. 4	本町5-13
		なかうちが ん か い いん 中内眼科医院	平13. 4.24	富田林町21-28
		とんだばやし しりつかわにししょうがっこう きょういけきし しりょう しつ 富田林市立川西小学校 教育歴史資料室	平13.11.20	新家一丁目3-1
		いわね けしゅうたく しゅおく おくざしき さかくら 岩根家住宅 主屋・奥座敷・酒蔵	平20. 4.18	五軒家2-1525-1
		みなみぐら にしぐら ちやしつ もんや かんごべい 南蔵・西蔵・茶室・門屋・龍塀	平27.11.17	
		とうか じゅくほんかん きょうしつ 桃花塾 本館・教室棟	平21. 4.28	大字喜志2067-5他
きゅうたなかけ じゅうたく しゅおく いぬいぐら 旧田中家住宅 主屋・乾蔵	平25. 6.21	本町423-4		

大阪府指定文化財	指定種別	名称	指定年月日	所在地	
彫刻	彫刻	りゅうせんじ もくぞうこんごうりき しぞう にたい 龍泉寺木造金剛力士像二軀	昭49. 3.29	大字龍泉888	
		りゅうせんじ もくぞうしょうとくたい しりつぞうほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他	昭51. 3.31	〃	
		じょうこくじ せきぞう じぞう ほ ぶつりつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像	昭45. 2.20	富田林町7-12	
	史跡	に ぐりてい 水郡邸	昭48. 3.29	甲田二丁目5-31	
		ひがしうや かいどうにしにおりいちりづか 東高野街道錦織一里塚	昭45. 2.20	錦織東三丁目7-1 錦織東三丁目8-2	
	工芸品	つづやま こふんおよ に ほんまつこ ふん 甘山古墳及び二本松古墳	平11. 2. 5	大字甘山20-33. 他	
		たきだに ふどうみょうおうじ こんどうほう しゅれい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴	昭56. 6. 1	大字彼方1762	
	有形民俗	建造物	なかむら けじゅうたく 仲村家住宅	平 2. 3. 2	富田林町16-31
			さいごくじゅんれいせんじゅうさんど きょうじやかんけい しりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 11点 (富田林組)	平 7.12.13	富田林町 7-12 (浄谷寺)
			さいごくじゅんれいせんじゅうさんど きょうじやかんけい しりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 うれしぐみ 7点 (嬉組)	平10. 2. 4	嬉 (嬉共有)